地方史情報 104

織田権力の領域支配

戦国史研究会

本書は2010年6月に開催された戦国史研究会主催のシンポジウム「織田権力論―領域支配の視点から―」の内容を軸にまとめた論集である。

今回の「織田権力論」というテーマ設定も、近年の研究動向に対応したものといえる。かつての戦国史研究においては、北条・今川・武田といった東国大名が分析の中心にあったが、近年では畿内近国や西国における権力や地域社会の研究が大きく進んでいる。また戦国という時代を、戦国大名が並び立った時期に限定して考えるのではなく、織豊政権期や江戸幕府の成立期も含めて考えるという視点もほぼ共有のものとなっている。こうした問題意識に基づいて、信長個人よりも一門や家臣たち、とくに地域支配を担った有力家臣に焦点を当てて、領域支配の観点から織田権力の実態をとらえ直そうと考えたのである。

本書は全体を四部にまとめている。第 I 部から第 II 部までは、一門や家臣の領域支配について分析したもので、第 I 部では京都とこれに近接した摂津・和泉の支配にかかわる論考を置き、第 II 部で信長の子息である織田信忠と北畠信雄の位置づけを論じ、第 II 部では柴田勝家・丹羽長秀・明智光秀・羽柴秀吉といった部将たちの領国支配の内実を分析した論考を配置している(このうち若狭と丹羽にかかわる論考は、シンポジウムではなく七月例会での報告によるものである)。そして最後の第 IV 部に、柴田ら大身部将を中心に信長の家臣の対外交渉における活動を探った論考を置いた。

大きく広がった信長の支配圏は、一門や家臣たちに配分されることになるが、彼らによる領域支配の内実はいかなるもので、その自律性はどこまで評価できるのか。詳しくは個々の論考に委ねたいが、文書や記録などの関係史料を広く集めて分析を加えていること、国や支配領域を平板にとらえるのではなく、その内部における地域的な違いに目を配り、さらには時代的変遷も考慮しながら実態を解明している。またそれぞれの地域にいる在地武士と領域支配者との関係に切り込んでいることも特筆できる。決して潤沢とはいえない織田権力研究の現状の中で、基礎的な分析を加え、見取り図を示したものといえる。(抄録)

(戦国史研究会編『織田権力の領域支配』、2011.4、小社刊、「序」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆文化情報 北海道文化財保護協会 〒060-0002札幌市中央区北二条两7丁目 かでる2·7ビル9階 TELO11-231-4111 www10.ocn.ne.ip/~bunkazai/

◇324 2011.3 B4 4p (抄) 五十年の足跡をたどって ト部 信臣 世界文化遺産への登録をめざして

(4) 一大船遺跡 北海道教育庁生涯学習推 進局文化・スポーツ課

子どもの文化財愛護活動一ふるさ とはわたしのたから 和田屯田 郷土の歴史保存・伝承事業 読者の声/会員の書籍紹介

◆北海道地域文化研究

北海道地域文化研究会 〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1 北星学園大学 高橋克依研究室気付 2009年創刊

♦ 3 2011.3 A 4 94p 巻頭言 北海道地域文化学会の設 立趣旨・現状・課題 阿部 敏夫 追悼 故矢島睿氏を偲んで

一業績とその人となり 氏家 等 研究ノート 美流渡の友子―北炭 美流渡坑自坑夫取立免状の通時

小西 信義 的比較 「コーホート型」観光施設に係る 基礎研究 記念館設置の経緯と 地域おこしの関わり 宮本 陽子 ◇83 2011.3 A5 76p 市町村社協による小地域ネットワ

ーク活動の評価と課題 佐藤 大介 地域の記憶の制作と到来--「清田 まるごと博物かん | の活動を例 西脇 裕之 観光施設における顧客満足度のデ ータ解析―旭川市旭山動物園を

事例として 堀内 明

神恵内村厳島神社境内出土の「兜

鉢上について 斉藤 大朋

北方圏の生活文化としてのスキー

今昔 佐々木 敏

シンポジウム記録

地域がつくる芸能、芸能がつく る地域-篠路を中心として

川嶋康男/高橋克依/秋元博行

地域文化の掘り起こしと継続に

脱帽―シンポジュームに参加

大庭 幸牛

資料紹介

時代の記憶を一枚の写真と語り

西谷 祭治

「松林哲五郎の『北海紀行』―

百三十年前の若人商人の北海

道旅行記一 について 遠藤 龍畝 活動報告 住宅古地図を郷土史の

資料として活動できないか 林 郁夫

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会 〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2.7ビル9階 1元011-231-4111 1961年創刊

表紙写直解説

「御領私領入組畧図 | 舟山廣治文庫研究会 | 巻頭言 創立50周年に当たって 新川 實 北大建築遺産トレイル建物散策 角 幸博 発見されたアロースミス社製地図

と間宮林蔵の業績 舟山廣治文庫研究会 福本日南と北海道一小樽水産高校

の校歌のいわれ 北海道開拓 文化遺産鉄道の鐘

伊達空襲と「平和の鐘 |の軌道 泉 産業遺産保存について法的措置の

必要性 山田 大隆 炭鉱労働者の西独派遣について 古屋 勤 新米学芸員発掘奮戦記 南 友香子 木製ドリルによる日高ヒスイの穿

孔実験 上屋 這一

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館 〒093-0042網走市潮見309-1 Tel0152-45-3888 hoppohm.org **♦80** 2011.3 A4 6p 展示 池田カナ子写真展「驚き・ シベリア・大自然一トナカイと 過ごした夏|

中田 箧 展示 開館20周年記念企画展「北

にくらす子どもたち | 齋藤 玲子

講座 現在進行形!

オホーツク文化の調査状況 齋藤 玲子 開館20周年記念講演 北にくらす

子どもち 講師・岡田淳子 笹倉いる美

開館20周年記念コンサート「遊牧 の民の調べ | 出演・リヤス =

クグルシン氏、ドルジパラム氏、

西村幹也氏 中田 箧

展示のお知らせ/INFORMATION

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会

〒050-0077北海道室蘭市天神町31-2 井口利夫方 TELO143-46-3440 **◇45** 2011.3 A5 104p 1000円 巻頭言 地方の歴史研究史料の収

集推進について 駒木 佐助 依頼解説

室蘭市の指定文化財について(1)

谷中 聖治

室蘭市内の遺跡について(1) 松田 宏介 調查研究報告

紀州大納言花奴史誌 バンクーバー探検隊とブロート

久末 進一

室蘭南部陣屋勤番人数の推移

-350人説を検証する 小田島 洋 室蘭最初の停車場と幻の輪西旧

市街 井口 利夫

資料紹介

『大日本寺院大鑑 北海道樺太版』 に見る 昭和13年の室蘭寺院

のすがた 青木 伸剛

『インターネットで見る 蝦夷地

の古地図』 編集担当

表紙写真 北大図書館蔵『蝦夷

南海岸図』(1) 「フシコヘツ

よりシツカリまで | 編集担当 事業記録

見学旅行記 平林 滋明

市民活動センターミュージアム

参加報告 展示資料「中央埠

頭界隈の昔をたずねる| 事務局 会務報告

◆うそり 下北の歴史と文化を語る会 〒035-0076青森県むつ市旭町13-48 相馬方 TEL0175-24-3262 年2000円 1965年創刊

◇47 2011.3 A5 182p 1400円

下北の滝を訪ねる一写真と文 瀬川 威 | 「あ行」 馬場操/地名方言研究会 斗南藩権大参事山川浩の生きざま

-- 思想と行動の深層(1) - 葛西 富夫 北前船の足跡一脇野沢村佐渡屋川 岸家文書からの視座(3) 脇野

沢鱈の記録 高松 敬吉

「大湊・青空空襲展 2010.3.13」を

見て 前田 哲男 昭和下北歳時記(6) 小川 洋一 昭和5年の大湊海軍スキー 海軍

生徒の来湊とシュナイダーの来

先祖を探し求めて(2) 遠藤 雪夫 肥後菊地一族の宇曽利郷進出説 澁谷 聰志 城ヶ沢「新松」姓について由来と

考察 新松 文明 あぜに立つ人

一旭日単光章・太田善之助 吉田しげ子

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022三沢市字園沢219-211 小比類 巻満方 TRI.0176-53-3525 2005年創刊

口絵 岡三沢神楽

発刊にあたって 新堂 一郎 特別寄稿 中野トク伝(6) 小菅麻起子 平安遷都千三百年祭に旅して 中里 豊子 源義経の北行説について 米田 清蔵 三沢市行政史文書「淋代牧場日録」

及川光男/古文書を読む会

想い出の記(4)

「月館八郎海軍始末記 |(2) 馬場 操 あ、痛恨、カンギポット 新堂 一郎 むかし話(4) (冨田トミノ作) 伊野 アイ 三沢のわらべ唄 小比類巻文幸 「ナニャドヤラ | 考(2) 三沢のむかし話 小比類巻みつる 三沢の方言 動作にかかわる方言 旧制八戸中学校"奉安殿"の成立

三沢郷土史研究会研究発表会

発表会のようす

参加者感想文

郷土史にみる三沢の読書事情

小比類巻みつる

有り明けの月(満州引揚日記) 中岫 正雄 コラム 石油基地を見て思いこも ごも/同感/「つれづれ日記」 より/コブシの花に豊作を読む

老父

長内 誠一 会報(第60号~第70号)

◆東奥文化 青森県文化財保護協会 〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 年4000円 1955年創刊

♦82 2011.3 A5 206p 《創立55周年記念号》

グラビア 青森県文化財保護協会

創立55周年記念講演会

発刊にあたって 盛田 稔

について 青森県教育委員会

忠蔵の旅日記から 金森 敦子

平成22年度青森県文化財保護行政

上方への旅一盛岡藩物産方 野坂

北山一郎とロシア貿易―青森県と

環日本海交流を考える 末永 洋一

「公私用書記」に見える海難事故

処理について一寛政12年松前沖

海難事故を手がかりとして 鈴木 幹人 中世南部氏の北・中奥における地

域展開 滝尻 侑貴

原子家文書の紹介

一東海道季候書を中心に 原子 慧

傳法 穎司 考古学から見た北奥社会の歴史的

枠組について 齋藤 淳

から解体まで 滝尻 善英 | ◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会 佐藤末吉「野良着の変遷」をめぐ

って 飯田 美苗

南部九牧の成立一御野馬別当の任

命を中心として 伊藤 一允

『尾駮の牧』の一試論一摂関期に

おける馬の需要の意味と"尾駮

の牧" 相内 知昭

弘前藩の地方制度について―郷土 西田三郎右衛門『御用留』によ

る一考察(1) 木村 愼一

◆岩手の古文書 岩手古文書学会

〒020-0805岩手県盛岡市東新庄1-14-4 佐 々木和夫方 TELO19-624-1850 1987年創刊 **♦ 25** 2011.3 A4 93p

巻頭言 森 ノブ

資料紹介

「盛岡市長小泉多三郎の中学生

日記丨 森 ノブ 岩動家に伝わる巻物 佐々木淑子 阿部千秋「日記」(3の1) 千田田鶴子 諸山開立年限附 南部家 佐々木和夫 星川正甫の『郷村私説』について

第三部 小川 桂中

領境塚に関する古記録の校対から

──通の「覚」の波紋 小原 善隆 評伝 那珂梧楼(補1) 高野豊四郎 研究余滴 菅江真澄所縁の霊桃寺

と鈴木常雄家の門を訪ねて 大内 武子 「菅江真澄・芦東山・平泉」の旅 菊池 正則 学会記事

第二部

吉田大肝煎文書(25)(明和二年)

(含む「校訂を終えて |)

寛政元年 日用書留帳(10)

鍵屋村井茂右衛門

「楢山佐渡」書状(4)(文久年間)

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

♦242 2011.3 B5 12p

《特集 平泉の町づくり》

文化振興の明日へ 池田 克典

座談会「平泉の町づくり」を振り

返って(上)(下)

千葉信胤/藤里明久/遠藤セ ツ子/千葉敏明/小野寺郁夫

平泉の町づくりの方向

- 座談会を傍聴して 大矢 邦官 花巻の文化財行政 及川 宣夫 安倍氏の拠点「鳥海柵遺跡 | 浅利 英克

県博の美化事業 菊池 彗

まほろばの郷に響き渡る神楽太鼓

小原 茂志

金野 静一

続平泉志(6) 開山中尊寺(中) 及川 和哉 郷土史学習会 今年度の日程終了

/岩手県の民俗芸能調査報告

書、三月末に発刊

萬 歳

◆キリスト教文化研究所研究年報

宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 〒981-0961仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 Tel022-279-1311

♦44 2011.3 A5 90+94p

松浦武四郎と義経蝦夷渡り伝説 菊池 勇夫 肉体的還元という起点

一戦時下の犀星詩 九里 順子 内村鑑三と伊藤仁斎 今高 義也

ヴァレンティノス派教師プトレマ

イオスのフローラ宛書簡の再評

新免 貢

バングラディシュの地方都市にお ける商店街発展の意味―タンガ

イル県バシャイル郡を事例対象

として 十屋 純 就職支援を诵して見てくる女子学 生の姿一就職相談の事例から 一条 孝子

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大 学大学院文学研究科 TEL022-795-6022 2005年創刊

♦5 2009.12 A5 218p オットーにおける「畏怖」の人間 学的解釈 華園 聰麿 地震と神の啓示―西スマトラ地震 をめぐる人々の反応 木村 敏明

山田 仁史

デュルケムと市民宗教

ールソーとベラーのあいだ 伊達 聖伸 臨死のヴィジョン なぜ仏が迎え にきたのか一『往生要集』にみ

る聖衆来迎のイメージと念仏 大村 哲夫 ボルネオ島サラワク先住民研究に

おけるアダット概念の形成とそ

神話における太陽・月・星の関係

の変容 土佐美菜実

セビヨの著作にみる動物の「二元

論的創造| 鈴木 文子

円谷幸吉を記念すること―福島県

須賀川市の動向を中心に 小林 輝之

〈聖なる皇族〉研究序説一昭和戦

前・戦中期宮城県〈御成〉の報

道を事例に 茂木謙之介

研究ノート 近代・オリエンタリ ズム・越境性-仏教研究におけ る近年の一動向をめぐって

オリオン・クラウタウ

弔辞(楠正弘先生) 池上良正/華園聰麿

◆秋田県公文書館研究紀要

〒010-0952秋田市山王新町14-31

Tel.018-866-8301 1995年創刊 www.pref.akita.jp/koubunsyo/ **♦17** 2011.3 B5 99p 講演録「自治体アーカイブズと公 文書管理法|

秋田藩家蔵文書と「戦国時代の秋

秋田県公文書館における普及活動 の現状と課題一公文書館講座の

試みを诵して 太田

秋田県における郡役所の文書管理 状況について-県庁内務部作成

の巡察報告書の分析 柴田 知彰

「佐竹文庫」の資料構造と形成・

伝来過程 加藤 昌宏

◆秋田県公文書館だより

〒010-0952秋田市山王新町14-31 Tel.018-866-8301 1995年創刊 www.pref.akita.ip/koubunsvo/ **◇26** 2011.3 A4 8p 「秋田県行政文書 | 県指定有形文 化財に指定

資料紹介

謎の明智光秀書状 佐藤 隆 旧制女学校関係資料 煙川 英俊

平成21年度秋田県公文書企画展 「戦国時代の秋田―秋田藩家蔵 文書の世界一|より 様々な書 札礼/「県政映画|上映会 懐 かしき昭和30年代の秋田

平成22年度公文書館講座/市町村 公文書·歷史資料保存利用推進 連絡会議/公文書の引渡し・公 開状況

刊行物の紹介 『宇都宮孟綱日記』 第六巻について

高等専門学校生徒 インターンシ

ップの受け入れ/公文書懇話会

◆山形県地域史研究

山形県地域史研究協議会 〒990-0041山形市緑町1-9-30 山形県文化環境部学術振興課分室内 Tel.023-627-7786 年2000円

◇36 2011.2 A5 150p 1000円 〈総会・研究大会〉

講演 出羽国ができるころ 川崎 利夫 西沼田遺跡の集落構成試案 山澤 出羽国安国寺について 三浦 浩人 文献史からみた天童合戦とそのこ

ろの城郭構造をめぐる 村山 正市 「大蕨邑鳥海山縁起 | の世界 神宮 144 谷木沢城と中山氏について 横尾 尚壽 天童織田藩家臣書簡紹介 近藤 守利 野中拾三ヶ村取締議定 佐藤 継雄 格知寮日記を読む

一私塾格知学舎の足跡 渡辺 武男 最上堰 鈴木 健一

西沼田遺跡の整備と活用

一指定管理者の立場から 渡辺 淑恵 村山民俗学会の歩み 野口 一雄 柏倉九左エ門家の豪農

大庄屋への道のり 鈴木 昭十 光秀院(大日様)の湯立について 叶 健三郎 第36回総会・研究大会の概要 研究ノート

近世前期谷地頭の年貢廻米

-新町村を中心に 本間 勝喜 大庄屋文書から見た酒田の世相

須藤 良弘

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306 1965年創刊

♦41 2011.3 A5 87p

郡山市の中世城館(7) 広長秀典/垣内和孝 安積氏の小手保亡命 高橋 明 続·郡山地方石仏点描 小林 剛三 葛城王祠碑について 安藤 宮司

史料紹介

天保九年閏四月御巡見使案内

郡山宿手控帳 糠澤 章雄 郡山町検断役交代の挨拶状 大河 峯夫 いわき地方の史跡を訪ねる 渡部 芳雄 平成22年度郡山市教育功労賞授与

報告

会員出版図書紹介

東

◆茨城県史研究 茨城県立歴史館 〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15 TelO29-225-4425 1965年創刊

www.rekishikan.museum.ibk.ed.ip

♦95 2011.3 A5 92p

茨城県北部から出土した東京湾岸

南部の土器一茨城県那珂市森戸

遺跡「豪族居館|出土の古式土

師器の再検討 田中 鹿島神宮文書の成立と伝来 前川 辰徳

水戸藩天保改革の同時代的評価と

影響-新史料「水戸見聞録論|

共楽館の意義と魅力 市毛 環

歴史随想 願入寺は縁切寺だった

!? -男僧寺院における縁切寺機

書評 『茨城県立歴史館史料叢書

13 鉄道関係史料Ⅱ』 青木 亮

県中関係文献目録(34)

の分析

能一斑

◆茨城県立歴史館報

〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15

裕

磯田 道中

Tel.029-225-4425 www.rekishikan.museum.ibk.ed.ip **♦38** 2011.3 B5 138p 鎌倉後期北下総を中心とする真宗 の展開―親鸞没後の門徒の動向 を探って 飛田 英世 幕末水藩「下十」登用探索 一党争解明への一視点 櫻井 明 研究ノート 茨城型人物埴輪の背 景にあるもの 黒澤 彰哉

平成13年~平成22年の茨城の年表

平成22年度地域共同史料調査概要

歴史資料室・行政資料課

◆茨城大学中世史研究

茨城大学中世史研究会 〒310-8512水戸市文京2-1-1 茨城大学人文 学部 高橋修研究室 TELO29-228-8120 2004年創刊

♦ 2011.3 B5 22p 調査報告 常陸大宮市の山城跡 調査概報(4)

部垂城跡とその周辺一水陸交通

からみた部垂城の位置 牡丹 健一 部垂城跡とその周辺 補遺 前川 辰徳 部垂の乱に関する伝承資料 高橋 裕文 常陸大宮市甲神社の慶長四年銘

高村 恵美 棟札 史料紹介 山方城下商人鈴木氏の

史料-鈴木惣次郎旧蔵文書 高橋 裕文 動向 第48回中世史サマーセミナ

一参加記 森木 悠介 北関東中世史情報/古代・中世史 関係の提出論文

付図 部垂城跡とその周辺 現況 調查図

◆史 境 歴史人類学会

〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院人文社会科学研究科内 Tel029-853-4403 1980年創刊

◇62 2011.3 A5 119p 2000円 講演 中韓日の水陸側における孤

魂のイメージの比較 田仲 一成

戦国期における武家主催の猿楽興

浜口 誠至

『霊異記』における自土意識の背景

坂口 健

豪商の衰退と年齢組織の成立一近 現代におけるダンナの動態をめ

ぐって 塚原 伸治

第二次グルカ戦争後における清朝 のチベット政策と「二十九条章

程 | 野﨑くるみ

書 評

田中悟著『会津という神話一〈二 つの戦後〉をめぐる〈死者の

笹森儀助書簡集編纂委員会編

『笹森儀助書簡集』 及川 高

板橋春夫著〈叢書 いのちの民俗

学3 生死〉『看取りと臨終の

民俗/ゆらぐ伝統的生命観』徳丸 亜木

◆上州文化 群馬県教育文化事業団 〒371-0801群馬県前橋市文京町2-20-22 Tel.027-224-3960 1980年創刊 www.gunmabunkazigyodan.or.jp **♦125** 2011.2 A4 14p

新春巻頭言 希望 小見 輝夫

世界に二つの縁切寺 縁切り現代 版としての「縁切り・縁結び厠」

一平成の満徳寺(2) 高木 侃

北川 和秀 上野東歌探訪

INFORMATION (財群馬県教育

文化事業団高等学校等奨学金制 度紹介

熊野古道を歩く 樽井 哲 伝統について一思いつくままに 川隅 俊郎 カフェの隅から さくらめーる 竹田 朋子

◆玉村通信 玉村中世史研究会

〒370-1105群馬県佐波郡玉村町大字復島 325 玉村町教育委員会生涯学習課文化財 係 中島方 Tel0270-30-6180

♦1 2011.3 A4 8p

共同研究の始まり

第1回例会発表記事

中近世移行期那波・玉村の土豪

簗瀬 大輔

玉村地域西部絵図調査から見た

問題点―上新田村・下新田村

・中斉田村 飯森 康広 中世陶磁器の悉皆調査 黒澤 照弘 第2回例会発表記事

和田家中と城館・屋敷 久保田順一 玉村地域における条里地割 中島 直樹 群馬県玉村町における中世屋敷の

一様相―福島久保田遺跡を中心

lΞ 飯森 康広 作業ナビ 絵図調査作業の実施状

地図検討グループ

例会議事録 第1回例会の結果/活 動記録

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1 Tel027-223-2785 年4500円

♦218 2011.3 A5 56p

《特集 平成の新指定 西毛編》

平成の新指定一西毛編 田口 正美 史料紹介 名勝 楽山園 小安 和順

平井1号墳出土品と藤岡歴史館周

れきさんサロン

| 辺の文化財 中島 誠

平田經子/石山幸弘/加藤鶴男 絵手紙で歩く 上毛かるた(41) 小林 生子 笙輪城の歴史探訪

『箕輪軍記』口語私訳(1) 大塚 實 高山彦九郎日記による歴史散歩

(25) 『丁酉春旅』(5) 勝沼宿

一府中(甲府) 正田 喜久

新陰流 活人剣と殺人剣について

大野 富次

気楽流柔術十一代 飯塚臥龍斉興

義碑を読む 斎藤 進一

支部だより

支部・グループ企画の交流につい

利根・沼田支部

歴史散歩の報告

山崎 正

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4

♦32 2011.3 A5 128p

東吾妻町上郷岡原遺跡における18 世紀代の建物一掘立柱建物から

礎石建物へ 飯森 康広

天狗岩堰用水開削研究序説一『上

毛傳説雑記』の検討からみえる

もの 和田 健一

研究ノート

前橋低地周辺の「開発」をめぐ

る二・三の憶説 関口 功一

上野国における熊野先達と檀那

一群馬県高崎市井野川流域の

時枝 務

「七歳までは神のうち | 再考

一群馬県内の事例から 小野 博中

道中日記史料と民俗―四国西国

順礼道中記をめぐって 西海 賢二

合戦場宿一件の全貌解明をめざ

して 坂本 達彦

書 評

久野俊彦著『絵解きと縁起のフ

ォークロア』 時枝 務

板橋春夫著『叢書いのちの民俗 学3 生死 看取りと臨終の民 俗/ゆらぐ伝統的生命観』 松田香代子

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4 **♦125** 2011.3 B5 4p 天引の麦祭り

-2010年秋祭りの調査より 斎藤 弘美 猫絵版画の変遷―養蚕守護から家

内ネズミ除けへ 伊藤 克枝 第90回例会記事

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房) 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29 Tel042-971-6512 年8000円 wwwl.pbc.ne.ip/users/sekibutu/ **◇137** 2011.3 A5 80p 2100円 巻頭随想 創立35周年をむかえて - 東北・関東大震災の記憶とと

\$ 12 坂口 和子 《特集 道祖神信仰と石造物》 道祖神信仰と石造物 (第32回石仏

公開講座より) 倉石 忠彦 浅間山鎮護と虚空蔵菩薩 岡村 知彦 埼玉県の花見堂地蔵について 中上 敬一 名号塔の知識(5) 岡村 庄造 「石 | を知る(27) 小松 光衛 石燈籠入門(47) 嘉津川 清 石仏写真と私(27) 杉本 康希 あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

| 会員の広場 中上敬一/石川博司/加藤和徳 /平井一雄/井戸寛/塚本承治

第88同石仏見学会報告

市川市江戸川ぞいを歩く 初田 瑞宏 一泊石仏見学会報告 群馬・赤城

山西麓の石仏めぐり 前川勲/橘禎男 海外石仏研修報告 ネパール・カ

トマンズの神々を訪ねる旅 長島 誠 はがき通信 亀山幸治/関口渉 石仏交流/石仏談話室/第35回総 会報告

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会 〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵 野学院大学国際コミュニケーション学部 神野潔研究室 TELO4-2954-6131 2008年創 刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/ **♦18** 2011.2 A5 24p

東大寺八幡宮御輿の入洛 坂井 法曄 清廉潔白な奉行人一室町幕府奉行

人依田時朝に関する一考察 亀田 俊和 史料紹介 青木庸行撰『百年以来

近代地下諸家伝 赤坂 恒明

◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報 〒270-1393千葉県印西市美瀬1-25 印西市教育委員会教育部生涯学習課文化班 Tel.0476-93-7641

♦15 2011.3 A4 8p 第1回研修会 資料の整理と保存、 活用一千葉大医事史料の整理を 終えて (講師:四街道市編さん 主任 樋口誠太郎氏)を聞いて

石戸 啓夫

第2回研修会(研修視察)

板橋区立文書館研修参加記 寺内 博之 第3回研修会「埼史協『埼玉県内 門間勇/水野英世 における歴史的公文書評価選別

と幸手市における歴史的公文書 収集の現状・課題|を受講して

高谷 英一

第4回研修会 報告及び意見交換 を経て「歴史資料の収集事業等 の課題と展望について」 高谷 英一 特別研修及び普及事業 地方史研 究協議会第61回(成田)大会への 参加について 事務局

各市町の動向 成田市/佐倉市/ 四街道市/八街市/印西市/白 井市/富里市/酒々井町/栄町

◆佐倉市史研究

佐倉市総務部総務課市史編さん担当 〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78 TELO43-486-3478 1983年創刊

♦ 24 2011.3 A5 153p 『佐倉市史』考古編編さん中間報告 佐倉における縄文時代後・晩期

遺跡の石器石材 堀越 正行 中・近世石造物調査概要 小高 春雄 講演録 新興武家地の誕生―幕末

期の佐倉江戸藩士の移住をめぐ

って 岩淵 令治 古河・小弓両公方家と千葉氏 黒田 基樹 大鳥圭介と佐倉藩士荒井宗道・荒

井宗懿 樋口 雄彦 写真家 浅井魁一と日清戦況写真

帖 前川 公秀 資料紹介

佐倉中学校出土の古式須恵器 内田 理彦 堀田正順の大坂城代赴任に従っ

た家臣名簿 十佐 博文 投稿 佐倉藩士栗原幾三郎「大坂

在番日記 | (2) 竹村 道央

追悼 市史編さん委員 比留間尚

市史編さん事務局から

資料調查報告 佐倉藩主稲葉家 及び家臣関係資料/印旛郡八 木村外七ケ村戸長役場文書 寄贈資料紹介 佐倉藩主堀田正 信発給の知行加増宛行状/佐 倉堀田家中植松治郎太夫家文

購入資料紹介 佐倉藩士渡辺弥一兵衛画像

◆紙魚之友 房総史料調査会 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大 学文学部日本史学研究室 1985年創刊 **◇28** 2011.3 B5 2p 調查報告 睦沢町長楽寺中村正明 家旧蔵文書 村 和明

◆袖ヶ浦市史研究 袖ヶ浦市郷土博物館 〒299-0255千葉県袖ヶ浦市下新田1133 Tel0438-63-0811 1993年創刊 ♦ 15 2011.3 A4 112p 『袖ヶ浦市史研究』第15号の発刊 にあたって 山田 営雄 市史編さん成果還元事業講演会 袖ヶ浦市山野貝塚について一千 葉県貝塚研究におけるその位 置づけ 上守 秀明

調查報告

袖ヶ浦市のk子音脱落調査 川名 興 史料紹介

光福寺所蔵「諸大事集|-光福 寺文書にみる中世の聖教(2) 植野 英夫 江戸時代末期の下泉村に発生し た訴訟事件について 鵜野 貞夫

史・資料からみた上総掘り元祖

・石井峯次郎と上総掘り職人

たち(1) 渡辺和子/能城秀喜/高木澄子

◆千葉県立中央博物館研究報告─人文科学 〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2 Tel.043-265-3111

www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ **◇24** (12-1) 2011.2 B5 25p 調査報告 九十九里町真亀の葬送 儀礼 大木淳一/島立理子

◆千葉文華 千葉県文化財保護協会 〒263-0011千葉市稲毛区天台町285 千葉県スポーツセンター宿泊研修所内 Tel.043-225-0673 1967年創刊 **♦41** 2011.2 A5 47p 富士山出土の懸仏について 沖本

周辺 稲本 章宏

西上総にみられる木食観正とその

新四国巡礼の記録

一葛飾大師八十八ヶ所 村上 昭彦 前千葉県文化財保護協会会長 長 谷川治一先生 郷土の偉人を全 国区に ライフワーク「波の伊

八丨 市原 淳田 長谷川治一先生と私 早川 正司 長谷川治一会長の思いで 高橋美智子 幻の中世地名「くぐいもり」 綿貫 啓一

◆東京湾学会誌 東京湾の水土

〒260-8682千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館 筑紫敏夫気付 年5000円 1998年創刊 **♦14** (3-2) 2010.3 B5 58p

房総における首長墳の系譜 小沢 洋 新刊紹介

小沢洋著『房総古墳文化の研究』

石渡 克彦

戊辰戦争における上総木更津の危

筑紫 敏夫 資料紹介 「角松旅館」前景写真 (曽根智子氏所蔵) 筑紫 敏夫 東京湾だより

◆東邦考古 東邦高等学校考古学研究会会誌 〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37 東邦大学附属東邦高等学校内 Tel.047-472-8191 1963年創刊 **♦35** 2011.3 B5 94p

研究ノート 千葉県内の竪穴住居

跡の面積(20) 東邦考古学研究会 東京府立第三中学校時代の杉原荘

介先生 堀越 正行 古墳設計論の成果と展望 沼澤 豊 西田幾多郎における行為的直観の

「形成作用」について 寺崎 信力 ラオス北部における伝統的鉄製錬 技術の再現一製錬炉復元操業の

凍報 袖野 信 再検討・千葉県内の「方形周溝墓 |

(19)山岸 良二

秋山好古と習志野一慶應義塾大学

日本文化研究会講演記録 山岸 良二 平成22年度 夏期長野・野尻湖合

宿記録 竹内 勇人

◆西上総文化会報

〒292-0833千葉県木更津市貝渕1-11-4 Tel0438-25-2003

♦ 71 2011.3 B5 126p

巻頭言 会報71号発刊によせて 藤浪 弘美 至徳堂の頼母子講と重城琢斎 三浦 茂一 江戸時代から明治初期にかけての

「房州石」の生産 筑紫 敏夫 阿武隈川の舟運と諏訪幸右衛門玄

諏訪 貞夫

県立木更津東高等学校百周年定時

制併置六十周年記念を省みて 石井喜美代 湖北「観音の里」の仏像巡礼 橘田 昭雄 佐賀藩預かりの天狗党四士 印東 庸行 幕末佐賀藩にかかわる天狗党 鈴木 貢 堀辰雄と竹岡体験 上杉 義隆 和語で編纂された古事記(1) 飯田 昭二 珍客来訪 中嶋 美夫 タゴールの言葉から 金子 馨 私の生涯と戦争(3) 薬丸比呂志 伊庭八郎と美人画の女 小嶋 一朗 狸査知 うさぎ年 たぬき年 関 狸亭 岩根を代表する石造物 亀田 故郷回想(3) 曽根 英範 鈴木 音 郷土における維新の裏話 東北地方太平洋沖大地震と津波の

脅威

移動研修レポート

相模国南足柄地方を訪ねて 橘田 昭雄 甲斐の国・史跡巡り

一武田氏終焉の地と北杜市 鬼形むつ子 安房・里見家中跡巡り 高木 秀子 第583回例会

西上総文化総会と懇親会 第584回例会 移動研修 I 相模国南足柄地方を訪ねて 第585回例会 研修発表会 I 「岩槻の石造物」調査報告書の

11年

第585回例会 研修発表会 I 富 津市千種新田と諏訪神社の由来

諏訪 貞夫

第586回例会 移動研修Ⅱ 甲斐の国・史跡めぐり

第587回例会 第62回西上総文化展

第588同例会 祝賀と忘年の会

第589回例会 研究発表会Ⅱ

調停員からみた遺言 鬼形むつ子 幕末佐賀藩にかかわる天狗党 鈴木 貢

第590回例会 移動研修Ⅲ

安房・里見家史跡巡り

西上総文化研修の歩み(4) 藤浪 弘美 文芸作品

「ケガ」に思い出の史蹟めぐり 堀切 貞子 俳句「初鏡」 鬼形むつ子

短歌「天寿の限り」房総文園入

志伊八信由の彫物/お江は三回

石井 重雄 短歌 甲斐の史蹟を訪ねて 橘田 昭雄 歴史ミニ情報 表紙の鹿野山はし ご獅子舞/榎本昌子会員『私の 歴史散歩』発刊/厳島神社に武

嫁いでいるが/文脇遺跡銅銭ぎ っしり大漁出土

◆房 総 川城文庫・藩政史研究会 〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7 Tel0475-42-3034

◇130 2011.3 B5 8p *終刊 幻庵おぼえがき書を読んで 川城 昭一



*1969年の創刊で42年余に亘る刊行に休止符 が打たれた。サブタイトルに、「古文書研究| 「郷土の古文書研究・歴史・民俗誌」などと 付されたことからも分かるように、郷土の古 文書を紹介しながら地域の歴史を解説してき たものである。休止の理由は編集発行者であ

る川城昭一氏の高齢化によるとのことで、誠 に寂しい限りではあるが、殆ど独力と思われ る長年の活動に心から労いの言葉を申し上げ る次第である。

川城氏の業績については、失礼ながら、本 誌発行の他は、睦沢村史編さん編集室総括で あったこと、日本塩業研究会編『日本塩業の 研究 第16集 (日本塩工業会、1975) に「九 十九里浜の塩について|を執筆、川城文庫か ら夷隅郡御宿町史編さん室編『御宿町史資料 目録』(1984)を刊行しておられること以外に 知らない。そこで、インターネットで検索し たところ、執筆者は不明であるが、川城氏に 触れた、「閑報-El Campo」なるサイトがあ ったので引用させていただく。「かれこれ20 年前、私は川城昭一氏の紹介で、氏の主宰す る長生村の郷土史勉強会に出席していた。こ の勉強会は月に1度の割合で開かれていた が、いわば『土地の古老』たちの集まりで、 お互い、自分たちの見聞してきたことや、自 分たちの家で伝えられて来たこと、失われて しまった祭事や行事などを語り合ったり、聞 いたりする会合であった。/東京から移住し てきた直後の私にとって、この会合で、ロー カルな話しを聞き、その地方の伝承の一端に 触れることは、非常に楽しいことでもあり、 また、勉強にもなることだった。」(http:// uramatz.blog107.fc2.com/?mode=m&no=49)

◆アーカイブズ 国立公文書館 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2 1到3-3214-0621 www.archives.go.jp ◇43 2011.3 A4 102p

平成22年度公文書館実務担当者研究会議「公文書管理法施行に向けた地方公共団体等の課題について

平成22年度公文書館実務担当者研

究会議

公文書等の管理に関する条例案

について 三宅 弘

公文書管理条例案策定において

留意すべき事項 早川 和宏 グループ討論から

公文書管理条例案

一公文書館現場の視点から 靏原美恵子 公文書管理条例の必要性 河本 千世 公文書管理法施行に向けた共通

課題と解説策について―現用

・非現用を横断する文書管理

の可能性 村上 淳子

文書移管及び特別閲覧制度の現

状と課題について 野邑理栄子 平成22年度公文書館実務担当者

研究会議 業務課連絡調整係

平成22年度 つくば分館夏の企画

展「気象」について つくば分館 高山市公文書館の開館について 田中 孝明 下関文書館の紹介 嘉室千加子 八潮市立資料館の活動 高山 治

記録遺産を守るために… 全国歴

史資料保存利用機関連絡協議会

富岡 守

公文書管理法の施行と利用の請求

について 田中 駒子

平成22年度公文書館専門職員養成

課程 業務課連絡調整係

国立公文書館が実施する平成23年

度研修計画 業務課連絡調整係

第4回~第6回公文書管理委員会が

開催されました

内閣府大臣官房公文書管理課

◆明日を拓く

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5 TELO3-5603-1861 1993年創刊

◇87 (37-2) 2010.12 A5 109 1000円 《特集

故・中山英一氏を追悼と、その足跡を追う》 特集にあたって

> 星沢重幸/韮澤久人/島田一生/ 高橋典男/長谷川サナエ/松島一 心/司会 藤沢靖介・吉田勉

資料 年譜/インタビュー「東日本の戦後部落解放運動のあゆみ」(抜粋)/講演「敗戦前と後の部落解放運動の歩み」(抜粋)/写真(長野県連『部落解放運動三十年の歩み』より)

古文書を楽しむ(4) 古文書を読む会本の紹介 大森直樹編『子どもたちとの七万三千日一教師の生き方と学校の風景一』 桐畑 善次

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TeLO3-3620-9393

♦518 2011.4 A4 4p

冨岡芳堂2作品と両学園―足立学

園と潤徳学園の像について 相川謹之助

千葉さな余談(最終回) 千葉さな

と関わった方たち 熊本はま/

塚越成治 あさくらゆう

亀有大谷田物語(12)

-昭和30年代の私 遊(2) 伊藤 純都市近郊の農産物を追う(39) 藁加工品―ムシロ・コモ・ナワ(3)

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 Tm.03-3620-9393

◇277 2011.4 A4 4p

平成23年度総会 郷土学習と新年 度計画策定

コラム教育史料 終戦直後の日本 の教育(111) 新教育指針 第

一部 後編 新日本教育の原点

第三章 女子教育の向上 堀川 和夫 伊興遺跡発掘調査の経緯について

(上) 安藤 義雄

3月探訪報告

江戸時代に町だった舎人 第20期記念「史談大学」予定案

◆あるむぜお

府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館 〒183-0026東京都府中市南町6-32 TmL042-368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/ ◇95 2011.3 A4 8p 府中宿に○△がやってきた!(4)

囚人護送 花木 知子

展示会案内

アウトローたちの江戸時代 花木 知子 NOTE 下河原線の跡を求めて 佐藤 智敬 博物館で生物多様性を知る!(4)

生物多様性の危機 中村 武史 最近の発掘調査 国司館が管理し

た土器 美好町一丁目 荒井 健治 収蔵資料あれこれ

ギフチョウのコレクション 中村 武史

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104 Trt 03-5398-2682 **♦ 263** 2011.3 A5 23p 櫻井良子様を偲んで

一歌集『九月の庭』より 泉 貞代 写真探訪 板橋の地名(14) 茂呂

史跡を訪ねて(18)

板橋の天狗党? 猪瀬 尚志 ひろば 第9回「櫻井徳太郎賞」

授賞式 井上 富夫

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12 加藤恒彦方

♦378 2011.3 B5 30p

研究会に新風を 加藤 恒彦 漕難者との漕遇(下) 大場 誠 奥武蔵、秩父の獅子舞(36)

-飯能・諏訪八幡の舞 関口 洋介 小説『犬塚』(2) 小泉 重光 人生と山脈(下) 染谷 鷹治

十文字小屋の宗村さん(百名山の

陰で) 湊 祐二郎 山岳ヘリ救助活動に遭遇 木城 昭彦 奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭

難 町田 尚夫 狼おやじの一人言(2) 矢口 益男 佐藤 八郎 春 泥 山行報告

会計報告/山行計画/奥武蔵情報

◆学習院史学 学習院大学史学会 〒171-8588東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学文学部史学科研究室内 Tel03-3986-0221 年3000円

♦49 2011.3 A5 115p

《井上勲先生退任記念号》

井上先生との30年 高埜 利彦 井上動先生を送る

井上勲先生御退職にあたって 松本 晃和 先生の思い出 川口 暁弘 井上ゼミで過ごした数年間のくさ

ぐさ 長谷川 怜

井上動先生略歷/井上動先生著作

豊臣期関東における浅野長政 梯 弘人 京都守護職の成立 長倉絵梨子 研究ノート 御三卿の家臣団構造

――橋徳川家を事例として 武子 裕美 講 演

「日本の七世紀史| 再考―遣隋

使から大宝律令まで 鐘江 宏之 唐の貢献制と国信物

追悼 高田さんと学習院・続 小倉 芳彦

◆郷十目黒 目黒区郷土研究

〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13

長沢英男方 15103-3711-3959

1956年創刊

♦ 54 2010.10 A5 164p 《創立55周年記念号》

目黒の風景今昔

目黒川・田楽橋と田道橋付近 『郷土目黒』第54集刊行のごあいさ

長澤 英男 『郷土目黒 | 54集の刊行を祝して 青木 英二 『郷土目黒』54集の刊行を祝して 大塩 晃雄 講演録 「江戸幕府を支えた幕臣」

一旗本神谷氏を中心として 村上 直 ふるきことをたづねて

一御鳥見・目付け 橋口 明子 宮野古民家自然園について 藤樫 稔 金子善四郎の寄准と祐天寺 石川 達也 目黒区の公園児童遊園地の現状 吉田 早織 高林 健二 立源寺の水行式 武内 房司 路線バスに乗って区内案内 (渋

平山 元也 小学校の遠足・参宮旅行の思い出

川合 正治

潰したいもの伝えたいもの

目黒区発祥の地の碑文谷彫 山本 尚 烏森神社の思い出 花井 鉄弥 目黒と落語 仲野 基道 田道なる地名について 山内 官之

狛犬ならぬ和犬 栗山 佳也 風光会 俳句 岩田 都女 俳句

大輪敏男さんを慎む

五色不動はいつ出来たか

大輪敏男さんを悼む 長澤 英男 大輪敏男さんを悼んで 平山 元也 大輪さんの思い出 下山田允子

地域で行う住まいづくり・まちづ

くりを支援します

目黒区住宅・街づくりセンター

文化財に関する教育委員会最近の

動向 目黒区教育委員会地域学習課

旧前田侯爵家駒場本邸和館及び庭

園等保存管理計画の策定につい て 目黒区都市整備部みどりと公園課

「目黒区めぐろ歴史資料館」の平 成21年度事業をふりかえって

目里区めぐろ歴中資料館

郷土研一年のあゆみ 目黒区郷土研究会

◆小平の歴史を拓く一市史研究

小平市史企画政策部編さん担当

〒187-8701東京都小平市小川町2-1333 Tel.042-341-1211 2009年創刊

♦3 2011.3 A5 244p 400円

考古・自然・民俗編調査報告 香月洋一郎 近世編編さん会議の活動 大石 学

空白をうめる―2010年の近現代史

71系統)「渋谷駅東口〜洗足駅 | 編さんの成果から 大門 正克 特集 小平市域の近世・近代移行

> 期をどう考えるか 特集を組むにあたって 大門 正克

村役人層の世代と経験から小平 市域の近世近代移行期を考え

る 三野 行徳

近世近代移行期の小平市域を考

える―明治初年品川県社倉騒

動(「御門訴」事件)を中心に 久留島 浩 明治期の小平 梅田 定宏

討論要旨

田丸 太郎

土豪開発新田の空間構成

--小川村開発史の再検討 小酒井大悟

新田村の村役人―武蔵国多摩郡大

沼新田を事例として 千葉真由美 尾張鷹場と小平市域の村々 蛭田 晶子

コラム(1) 近藤勇の母「ゑい」と

兄「惣兵衛 三野 行徳

研究報告 武蔵野新田における寺

院建立の背景一野中新田の組分

けをめぐって 菅野 洋介 コラム(2) 江戸の生け花と小平-

允中流『允中挿花鑑』の図絵か

松久 茂嘉

研究報告 小平村と日露戦争一戦 地と郷里・銃後を結んだ軍事郵

細谷 亨

コラム(3)

多摩湖線本小平駅のなりたち 伊藤 守 研究報告 小平町における町村合

併の動向と農村部の反対運動 杉本 仁 コラム(4) 最後の醤油絞り 中込 敦子

資料紹介 小川四番組代参講の百 年-- 講中保管文書の分析から 柏木 亨介

コラム(5)

働きながら家事・行儀見習い 今井美代子 資料紹介 ある家に贈られた見舞

金の「のし袋」から 中野 紀和 コラム(6) 生き肝の話 今井美代子 市民の声

市史編さんに望むこと 小松 信也 小平市の図書館づくりに参加し

7 名取 公子 藤森 明子 私と小平 40年のあゆみ

一小川住宅のあれこれ 吉田 照子 私と小平--「安全・安心な町」づ

くりへ向けて 宮﨑 郭 市史編さん担当からのお知らせ

◆西郊民俗 西郊民俗談話会 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1 大島方 年2000円 www11.ocn.ne.jp/~oinari/

♦ 214 2011.3 B5 33p 見世物としての妖怪

一鬼のミイラ・骨を中心に 福西 大輔 東京の田植地蔵・鼻取地蔵 長沢 利明 初島の現在 大島 建彦

福島県における威嚇猟(下)

一その実態の概要と特色 天野 武 滋賀の天狗像(上)-- 昔話・伝説・

世間話からの考察 高橋

◆史学研究集録

国學院大學大学院史学専攻大学院会 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28 Tri.03-5466-0142

♦36 2011.3 A5 106p 東宮の構造とその機能

一平安初期を中心として 三輪 仁美 目録 南多摩郡各町村縮図目録 十偶の表情表現にみる人の世間性

一先史社会の考古学から「世間 |

の考古学へ 久保田健太郎 研究ノート シュードカラー画像

を用いた古代道路検出の方法に ついて 朝倉 一貴

平成22年度國學院大學田子家文書 研究会活動報告--陸奧国磐前郡 上三坂村田子文書目録(8)

活動状況/既刊目録(1号~35号)

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要 〒195-0063東京都町田市野津田町897 Tel.042-734-4508 1987年創刊

◇24 2011.3 A5 174p 自由民権運動研究の視点と方法一

『自由民権運動の系譜』を中心 にして 稲田 雅洋

文明化と「他者 | 一自由民権運動 の「朝鮮」認識を中心に 今西 一

来日以前のジョン・レディ・ブラ ック―オーストラリア移住まで

興 武則

幕末における新田開発と村役人― 武蔵国多摩郡下図師村を事例に

坂本 達彦

民権家の履歴書 松村才吉につい

書 評

稲田雅洋『自由民権運動の系譜』

安在邦夫ほか編『近代日本の政

党と社会

新刊紹介 滄溟・宇田友猪『板垣

退助君傳記 中元 崇智

2010年度第1回企画展「絵図でみ

る町田―Partl― | の記録

◆常民文化 成城大学常民文化研究会 〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20 Tri.03-3482-9068

♦34 2011.3 A5 168p

経済の離床を考える一イリイチの

「シャドウ・ワーク」を手がか

n iz 立花 弘志

「河童」のイメージの変遷につい

て一図像資料の分析を中心に 小澤 葉菜 〈パロディ〉によるサブカルチャー

再考試論―『さよなら絶望先生』

を例に 鈴木 権人

純粋な暴力一生命を占有している

という事実 木下 聖三

瀬戸内海海村における女性の働き

一畑作の消滅と漁業の専業化か

福島県いわき市江名における漁業 の変容一漁村社会の把握にむけ

7 玄蕃 充子

おどけ者話研究の展開のために 堀口 祐貴 文献資料から見る石上神宮の鎮魂

と鎮魂祭一古代から近現代の資

料を中心とした考察 田村 明子

和同開珎銭に関する一考察一東洋

史からみた銭文の読み順を中心

として 中江 圭

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館 Tri.027-221-2346 www.isai.ip

♦89 2011.3 B5 88p 《第36回京都大会特集号》

大会テーマ

開会行事

会長あいさつ 富岡 守 開催地あいさつ 山田 啓二 来賓あいさつ 山崎日出男 総会 阿久津 聡

記念講演会

国宝東寺百合文書の魅力 上島 有 大会テーマ研究会

趣旨説明 定兼 学

報告 I 近現代史研究と文書館 一利用者の立場からの一つの

文書館論 竹永 三男

報告Ⅱ 目撃せよ!紙片が宝に

変わる瞬間(とき)―図書館員

のアーカイブ資料探検 井上 真琴

大会テーマ研究会

報告Ⅲ 公文書館機能の自己点

検・評価指標(試論)

早川和宏/富永一也

全体討議 めざすべき公文書館 的機能とは?

公開事業 ポスターセッション/

資料保存ワークショップ

大会参加記 串間 聖剛

第36回全史料協全国大会(京都)を

終えて 福島幸宏/小西雅彦

大会研修会 A

京都府立総合資料館見学 沢尾 俊和 大会研修会B アーカイブズ入門

―私たちの立ち位置 鈴江 英一

大会研修会C 公文書管理『新時

代』に向けた取り組み 岡本 信一 大会研修会D 三重県史編纂にお

ける資料調査と古文書整理 藤谷 彰 大会プレ企画 講演 賀茂別雷

神社と賀茂川 橋本 政官 アーカイブズ関係協議会参加報告

富岡 守

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会 〒157-0061東京都世田谷区北島山2-3-9-101 光田憲雄 TELO3-3307-2146 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/

♦225 2011.3 A4 2p

浅草名物楊枝見世 柳屋お藤 大締一代記(12) (原作)藤本甲南 /(著作)光田憲雄 **♦ 226** 2011.4 A4 2p 浅草奥山の賑わい 大締一代記(13) (原作)藤本甲南 /(著作)光田憲雄

◆多摩地域史研究会会報

〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2 文化財COM内 TELO42-521-0186 **♦97** 2011.3 B5 8p 第19回大会報告 第19回大会「多 摩川中流域の近世村落-開発と 景観―|を終えて 梶原

多壁の地域史研究グループ

昭島・歴史を読む会 紅林·M·万枝 会則の改訂 事務局

2009年度決算報告

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館だより

〒102-0081千代田区四番町1 Tel03-3238-1139 1990年創刊 rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp

♦35 2011.3 A4 8p

《平成23年度千代田区指定文化財特集号》

特集 平成23年度指定文化財紹介 川干大権現神号額 宝暦六年銘

1面/庚申塔 1基 (高木)

文化財調查報告書 新刊紹介

報告書『原胤昭旧蔵資料調査報

告書 (4)』(¥1200) (滝口)

ブックレット『江戸城の考古学』

(¥700)・『江戸城の考古学Ⅱ』

(2分冊各¥1800) (水本)

埋文ニュース

20

発掘された江戸城本丸の石垣 (後藤) 収蔵資料紹介

『赤い鳥童謡集』第貳集 (小山) 千代田区立四番町歴史民俗資料館 からのお知らせ 平成23年秋に 四番町歴史民俗資料館は日比谷 図書文化館へ移転します

◆伝 え 日本□承文芸学会

〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28 国學院大學文学部 花部英雄研究室 TeLO3-5466-0224 年4000円 1987年創刊

♦48 2011.2 B5 8p

井上ひさしと口承文芸 根岸 英之 第60回研究例会シンポジウム

「声・音・身体の文化をめぐる

地域性と国際性|報告 佐藤 優 〈小特集1 『遠野物語』100年〉

『遠野物語』発刊100周年をめぐっ

川島 秀一 101年目の『遠野物語』への旅 米屋 陽一 〈小特集2 新しい「語り」〉

櫻井美紀という現代の語りの水源

三田村慶春

語りの復活をめざして-国民文化

祭・民話の祭典(岡山県総社市)

が成功 立石 憲利

語りの場は川崎市立日本民家園

日本民話の会・語りの会

〈小特集3 各地から〉

東京学芸大学のフォーラム 石井 正己 韓国昔話事情 桶口 淳

沖縄伝承話資料センターの活動

NPO法人沖縄伝承話 資料センター事務局長

日文研の怪異・妖怪研究

この一年とこれから 飯倉 義之 ◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403 多田統一方 FAX03-3964-8548

tias3.web.fc2.com

◇87 2011.3 A4 4p

報告 研究会「北九州の産業遺産」

の概要 平井 東幸

報告 見学会「東京海洋大学百周

年記念資料館 | 多田 統一

短信 情報処理学会の「情報処理

技術遺産| 平井 東幸

茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(1)

新海堂の店舗・座敷蔵 八木 司郎

第17回理事会の議事概要/第18回 理事会の議事概要

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1 東京音楽大学 山本幸正研究室気付 www.s-ifm.org

♦34 2011.3 B5 24p

《日本民俗音楽学会第24回東京大会特集》

巻頭言 新しい体制に期待します

小島 美子 東京大会を終えて思うこと 城所 恵子

シンポジウムの反省と雑考 久野 壽彦 小林 敏雄 北海道の民俗楽器

シンポジウムを終えて

一楽器研究の問題点 片桐

発表余話

初めての研究発表 河瀬 彰宏 「文学部系授業におけるわらべ

うたの扱い | についての研究

小野寺節子 発表

研究発表「盆踊りと念仏踊りの

関係 についての反省 星野 紘 "落穂"を拾って 屋原 昭夫

採譜ノススメ 上西 律子 参加者の声

厳しさの中に暖かさ 松本 晴子

民俗芸能の伝承について思うこ

森下 春夫

民俗音楽公演に出演して

浅草神社神事びんざさら舞の由来

神事びんざさら会

田中 将降

徳丸北野神社田遊び

徳丸北野神社田遊び保存会 石田 彰

カメラリポート

第7回民俗音楽研究会報告 「民俗

音楽伝承力の創造 | に参加して

桂 博童

平成22年度日本民俗音楽学会総会

報告

田辺秀雄先生を偲んで 小島 美子

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31 吉越正博方 TELO3-3996-4454

♦332 2011.3 A4 4p

昭姫伝説考(4) 遠武 健好

東京市養育院と、かの人々一児玉

花外・島崎こま子・長谷川利行・

物集高量 日向康三郎

昭和史雑感

昭和天皇と将軍達(12) 鎌田 茂男

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026東京都府中市南町6-32 Trt.042-368-7921 1988年創刊

www.fuchu-cpf.or.ip/museum/

◇24 2011.3 A4 96+35p

府中市沖積低地における縄文・弥

生時代の遺跡 湯瀬 禎彦

国府八幡宮の中世瓦 深澤 靖幸

川崎平右衛門定孝による玉川上水

及び多摩川の治水工事 野田 政和

鉄仏の来歴と畠山重忠の伝説 小野 一之 府中市内稲荷の「創建 | と「勧請 |

- 鎮座起源の伝承と歴史 佐藤 智敬

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会 〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内 ™03-3203-4141 年6000円 1985年創刊

◇50 2011.3 A5 106p 山伏神楽・番楽から見た獅子舞

ー鳥海山周辺を中心に 神田より子 花祭における神々の諸相

-三河地区を中心に 坂本 要 「八王子まつり」の現在一実行委

員会と山車町内の意図 高久 舞 書 評

井出幸男・公文季美子著『土佐 の盆踊りと盆踊り歌』 星野 ; 能本県八代市教育委員会編『八

代妙見祭』調査報告書 西岡 陽子 静岡県教育委員会編『小稲の虎

舞』調査報告書 高嶋 賢二 山路興造著『近世芸能の胎動』中村 茂子

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会 〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28 国學院大學文学部 花部英雄研究室 ™03-5466-0224 1971年創刊 mukaden.tiyogami.com

◇30 2010.12 A5 114p 食わず女房の食べるもの

ーその正体のイメージ 中村とも子 赤木本『伊吹山(大江山以前)酒典

童子』と〈唐人の踊り〉 西座 理恵 伝説における機織りの表象一水底 に機を織る女性がいるとされる 伝説の場合 吉田 裕美 伝説研究史再考

-藤沢衛彦の伝説研究の背景 関根 綾子 死と虫-あるファミリーヒストリ

ーから 内藤 久義 火車説話における「火車」のイメ

ージの変遷 中村 祥子 報告

飛島の伝説、世間話(1)

清野知子/清野尚史/花部英雄 日本語教育と昔話紙芝居 一台湾の事例から 伊藤 龍平

資料 『コクゴ』『初等科國語』の 昔話資料—日本統治下台湾の国

語教科書と昔話(5) 伊藤 龍平

 一考察
 森下 愛子

 過疎地の伝統芸能の苦闘
 星野 紘

 無形文化潰産保護条約における

"Traditional Craftamanship" 松山 直子 フィルモン音帯に関する調査報告

飯島満/永井美和子/中山俊介 資料紹介

浅田正徹採譜楽譜 星野 厚子 梅村豊撮影歌舞伎写真(3) 金子 健

◆**目黒区郷土研究** 目黒区郷土研究会 〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13 長澤英男方 TmLO3-3711-3959 ◇675 2011.4 B5 8p 150円 路線バスに乗って区内案内(13) (黒06系統)「目黒駅発~三軒茶

屋 | 線の内、「五本木二丁目~

 三軒茶屋」
 平山 元也

 アメリカ橋によせて(5)
 田丸 太郎

 目黒囃子と殿様
 橋口 明彦

まぽろしの田道児童遊園地を追っ

て(5)吉田 早織目黒と目と黒と(2)目黒 英夫衾城異聞栗山 佳也大銀杏(5)仲野 基道

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中寛方 15L03-3945-2497 年3500円 1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.jp ◇31 2011.3 B5 72p 2000円 イギリスの鉄道郵便について一そ の創設から廃止までを概観する

 星名
 定雄

 身延山道標始末記
 藪内 吉彦

 樋畑雪湖の論文・随筆リスト
 福井 卓治

 太平洋戦争下の郵便事業
 山崎 善啓

 史料紹介

旧刊紹介(5)

『郵政監察二十年』 鈴木 克彦 小包送票異聞(5)

台湾総督府管内の小包送票 加藤 秀夫 ていぱーく(逓信総合博物館)資 料紹介(15) 特殊切手「切手 趣味週間・郵便創業140年記

念」原画 井上 卓朗

データシート

明治前期の郵便局数

近刊紹介

藪内吉彦・田原啓祐著『近代日

本郵便史 創設から確立へ』石井 寛治 『郵政資料館 研究紀要』第2号 正田幸弘著『ブラジル郵便史概

説』 松本 純一

山崎善啓著『明治期愛媛県下郵 便局達書集一柏·郡中·小松· 四坂各郵便局資料一』

◆馬の博物館研究紀要

(財馬事文化財団・馬の博物館 〒231-0853横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑 1m.045-662-7581 1987年創刊 www.bajibunka.jrao.ne.jp ◇17 2010.12 B5 44p 中世後期の馬産と馬具製作

- 東海地方を事例に 長塚 孝 翻刻『賀茂社記』 山本 宗尚 資料紹介 春興狂歌摺物『馬尽』佐藤 美保

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEIO45-364-4456 1994年創刊

◆25 2011.3 A4 4p 郡役所文書について
展示を終えて 「神奈川の旗本知行地一地頭と領民の江戸時代」
ミニ展示「昭和七年上海爆弾事件の記録」/ミニ展示「「開国百年祭」を調べるには」
所蔵資料紹介 松本喜美子資料収蔵資料紹介 相模国三浦郡木古

庭村 伊東家文書(寄託資料)

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会 〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方 TmtO45-825-3736 1987年創刊 ◇23 2011.2 B5 46p 巻頭言 震災・空襲・慰霊 大湖 賢一

第27回総会シンポジウムの記録 自由民権百年全国集会から地域 史研究へ 内田 修道 目白修好诵商条約の締結過程とそ の意義 京浜歴史科学研究会

学習活動一覧(2002.4~2008.12)

◆県央史談 県央史談会

♦50 2011.1 A 5 118p ありし日の飯田孝会長(ご遺影) 飯田孝さんを悼む 内藤 佳康 尊友飯田孝氏のご逝去を悼む 渋谷 利雄 飯田会長を悼む 荻山 勝重 飯田さんを偲んで 大平 武之 飯田孝さんを偲んで 柳下 安行 飯田会長さんのこと 石野 孝 飯田孝さんありがとうございまし

〒243-0033神奈川県厚木市温水342 内

藤佳康方 150.046-247-1751 1961年創刊

大野 一郎 故飯田孝さんお別れ会 平本 元一 兵士からの手紙一軍事郵便が伝え

る日中戦争(上) 岩崎 稔 人間爆弾「桜花」と平塚市 千葉 弘 柳下 安行 石神考 愛川町半原字馬場の講について 小島 茂平 伝海老原源三季貞の墓について 大塚 博夫 厚木の条里(2) 菅野 雪雄 県央史談総目録(創刊号~第50号) 平成22年度事業報告と役員名簿

◆市史研究 横須賀

横須賀市総務部総務課

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11 TeLO46-822-8150 2002年創刊

◇10 2011.3 A5 135p 500円 横須賀造船所初期の技術官制度 鈴木 淳 〒250-0021神奈川県小田原市早川60

個人の祝い研究試論

--横須賀市西浦賀の诵渦儀礼 板橋 春夫 調査報告 大津古墳群の調査(1)

(古墳遺構編) 稲村 繁

市民が語る横須賀ストーリー 敗 戦が替えた運命(米海軍横須賀 基地とともに)一竹宮帝次氏に 聞く

史料紹介 ヴェルニー関連仏文史 料について―横須賀浩船所の黎

飯窪 秀樹

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会 〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21 井上弘方 1980年創刊 **♦66** 2011.3 A5 20p 聞き取り

辻村農園と本土決戦陣地 越地 敏雄 解説 威張山の本土決戦陣地につ

香川 芳文 本会代表・飯田耀子が小田原市の

教育文化功労賞を受賞

調査報告 甲府連隊の地を訪ねて

井上 弘

長崎平和記念式典に参列して 矢野 暁 全国連絡会議第40回東京大会参

井上 弘

戦災・空襲記録づくり第26回東

海交流会参加記 矢野 慎一

本会発行の書籍案内

書籍紹介 『近現代日本の戦争と 平和』/本会発足30周年記念出 版の案内

◆扣之帳 扣之帳刊行会

青木良一方 1至0465-22-8852 年2500円 **◇31** 2011.3 A5 104p 500円 原点に帰りたい

わが道、こゆるぎ座と共に 関口 秀夫 曼珠沙華縄文作物論・序説一いま

は忘れられたこの路傍の花への

田代 道彌 今川 徳子 亀姫の二つの墓所 桜町仕法の前期をどう見るか 尾上 武 酒匂だより「春」 町田紀美子 ボクの映画館(11) 「君の瞳に乾

杯!|--「カサブランカ| 平倉 正 木菟の家余聞一山本鼎と池田林儀

岸 達志

足柄口談(4) 牧野信一が早川に

加藤 利之 住んでいた頃 歌舞伎を彩った人々(3)

二代目尾上松緑 田中 曹 相模松田氏の興亡と去来概説 平賀 康雄 亀右衛門咄(8)

こんなことまで御改め 青木 良一 近代神奈川の書籍文化(6)

敗戦前後の貸本屋(上) 高野 肇

◆大和市史研究

大和市役所文化スポーツ部文化推進課 〒242-0001神奈川県大和市下鶴間1-1-1 Trt.046-260-5336 1975年創刊

♦36 2011.3 A5 140p 口絵 岸田芳男氏所蔵資料

大和市北部地域の古代集落とその

自治体史〈民俗編〉の編さん動向 について-神奈川県域を中心に

鈴木 诵大 記 録

地域資料紹介

深見入村の14歳の生徒が記した 「大正八年度夏季休業日誌 |

資料の紹介 相田 薫 深見入村の14歳の生徒が記した 「大正八年度夏季休業日誌 | 資料編

聞き書き 上和田で過ごした昭和 の思い出 小川一郎/相田薫

写真で見る高度経済成長期の大和

相田 董

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局 (発売:おうふう) 〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31 Tel0467-22-0315

◇124 2011.3 A5 138p 680円 《特集 巨樹信仰》

口絵 古の人々は巨樹に何を感じ たのか

エッセイ 私の樹木信仰 金子 兜太 短歌 鶴岡八幡宮「大銀杏」献歌

> 坊城俊周/吉田茂穂/尾崎左 永子/前川佐重郎/香山静子

巨樹の信仰一総論的な立場から 牧野 和春 巨樹の古代 居駒 永幸 口承文藝における巨樹の信仰 大島 建彦 柱と神道

一自然崇拝から国家宗教へ 三橋 正 現代の巨樹信仰

一暮らしの中の巨木 平野 秀樹 口絵解説 巨樹信仰の源 松本 滋 短歌 源實朝追慕 岡野 弘彦 小論文

紀の國の原点 木の神・緑化の

神「五十猛命| 奥 重視 建築資材としての大径木 山本 博一

鶴岡八幡宮大銀杏倒木の記録 濱野 周泰 コラム 八幡さまと巨樹あれこれ

岩崎 香子

八幡宮紹介

放生津八幡宮(富山県射水市) 新刊紹介 『宝満山の環境歴史学 的研究』森弘子著、『奪われる 日本の森一外資が水資源を狙っ ている一』平野秀樹・安田喜憲 共著

中 部

◆郷土史燕

燕市教育委員会·燕郷土史研究会連合会 〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27 TEL0256-63-4131 2008年創刊

♦4 2011.3 A5 168p

『郷土史燕第4号』発刊によせて 石黒 克裕 「御新田郷」の開発と歴史的意義 亀井 功 吉田天満宮拝殿の格天井の絵

一画師 照田穿石について 菅井 シヅ 吉田の町から無くなった金刀比羅

神社 三五 哲夫 「竹山日記」にみる良寛と分水地

域の文化活動の特色一巻・曽根

画人渡辺洽齋(渡寅) 亀井 功 医師・画人・書家多才な吉田譲

庵(梅州)亀井功良寛研究ノート塚本智弘

明治44年4月 鈴木彦岳先生筆写

「長谷川強庵逸事」 松澤佐五重

昭和初期における粟生津村農会

の活動北澤 昭松高橋正道「柏崎遊学略記」高橋 洋雄

文化六歳 地蔵堂組田畑御案内

帳(3)西海土寿郎国上地区の昔話余話渋谷 啓阿渡部の昔ばなし玉木 玉雄

吉田郷土史研究会研修

長岡を知る日帰り研修 宮路 実 年号表

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15 伊藤善允方 №025-266-3076 年4000円 1963年創刊

♦51 2011.3 A5 127p

小村式先生の御逝去を悼む 伊藤 善允 小村式先生の御逝去を悼む

一地方史研究の俊秀が残った 蒲原 宏 小村弌先生を偲ぶ 中村 義隆 小村先生と新潟県史編纂 井上 慶隆 新潟奉行川村修就の仲役所改革と

公共事業 中野 三義 「山本五十六のことば」をとおし

てその人物像と時代相を探る 土田 隆夫 新潟町の形成に関して

 『通史』はこう変わる
 小川 敏偉

 御封印野新田の開発
 本間 則久

 歴史家・中野城水について
 山上 卓夫

 資料紹介 昭和17・18年度
 濁川

村航空青少年隊活動状況 稲垣 森太 随想 喜寿越えの富士登山 小熊 英雄 会の活動

平成22年度春の史跡探訪旅行 伊藤 善允 第24回「会津と越後を語る会」

小千谷大会 大谷 晴夫

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11 (朗高岡市民文化振興事業団 1m.0766-44-5511 1991年創刊 www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/ ◇21 2011.3 A5 101p 田辺福麻呂の越中来訪と福麻呂歌 集の追補一家持歌と万葉集編纂 にもたらした意味 塩沢 一平 『万葉集』における「無常」の形 一思想史における「無常」の起

源をめぐって 西澤 一光 開館20周年記念シンポジウム

越中万葉の魅力 小野寛/稲岡耕二/坂本 信幸/針原孝之/山口博

大伴家持の「初月歌」のよみの現

在 小野 寛 万葉には新羅をば「しら」と書け

り一『無名抄』に語られる『萬

葉集』(2) 新谷 秀夫 戯書的表記と字書の訓詁 垣見 修司 研究ノート

「淡海県」の訓みをめぐって 関 隆司 勝興寺蔵・田中大秀「遊覧越中旧 国府大伴家持卿古蹟述懐辞|

(上)一影印・翻刻・解題 田中夏陽子 報告 富山県博物館協会研究補助 越中万葉集の継承とその展開に

ついて田中夏陽子

◆たてはく 人と自然の情報交流誌 富山県立山博物館 〒930-1406富山県中新川郡立山町芦峅寺 93-1 ™076-481-1216

www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm \$\frac{75}{2011.1} A 4 4p

友の会・ボランティア研修バスツ

アー「晩秋の上越から信濃路へ」

吉野 俊哉

平成22年度秋季特別企画展「立山・富士山・白山 みつの山め 、り一霊山巡礼の旅『三禅定』」

を終えて 加藤 基樹 新資料 三禅定の巡礼札 加藤 基樹 平成22年度文化講演会「霊山巡拝

と旅の民俗学」を開催! 加藤 基樹

山岳映像企画2010富山 遠征特派

一羽田特派員の奮闘―開催され

る 吉井 亮一 「坊家御膳の再現」を終えて 伊東 修二 「もみじ呈茶会」を終えて 高柳 伸広 ◇76 2011.3 A4 4p

大雪に見舞われた立山博物館

開館20周年の春を迎えて 米原 寛 立山博物館顧問会議 野口 安嗣

立山博物館開館20周年記念特別企

画展「綜覧 立山曼荼羅」

絵で知る立山信仰の世界 福江 充 こころをうつす絵鏡 加藤 基樹

◆富山市日本海文化研究所紀要

〒930-0881富山市安養坊47-2 TeL076-433-8634 1988年創刊

◇24 2011.3 A4 42p 越後衆北洋進出の一断章

一田村廣松日記をもとに 赤羽 正春

最後の飛騨郡代新見内膳正功と立 山信仰一特に芦峅寺宝泉坊との

関係を中心に 福江 充

越中御家人太田氏にみる得宗専制

大保 尚文

戦国末期における高清水山地の戦 いとその実相一佐々成政の軍事

攻勢と五箇山一揆の制圧 高岡 徹 聖教が語る経済交流

一海と川に広がる賀茂信仰 松山 充宏

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民 俗資料館内 年3000円 1974年創刊 ◇28 2011.3 B5 44+6p 《第35回 北陸三県民俗の会年会記録》 〈共通課題一北陸のムラ(宮座、若者組、混住 化、限界集落)〉

26

史料紹介

いま、村は…一典型的な「混住」 のりんご村 奥野 達夫 旧白峰村の桑島の共有山林と入会 慣行 山口 一男 敦賀市・美浜町を中心とした神社 に遺る若連中の遺物 多仁 照廣

伝承される菖蒲叩き 白岩 初志 犯罪と民俗一脱糞と丑の刻詣り

 真山 武志

 勝山の左義長
 佐野 光臣

シンポジウム「北陸のムラ」 北陸三県の民俗研究動向 富山県 の民俗研究動向/石川県の民俗 研究動向/福井県の民俗研究動 向

◆石川県立歴史博物館紀要

自由課題

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1988年創刊 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/ ◇23 2011.3 B5 137p 講演録 私の歩んだ道 脇田 晴子

加賀藩の知行制度と宛行状 濱岡 伸也 近世初期における能登一宮気多社

の再編一鳥獣保護政策との関わ

りから 塩崎 久代 近江町の大行灯と素人浄瑠璃

--〈祭礼なき都市〉の祭礼論 大門 哲 史料紹介 回想録「過去ノ郷里ヲ

追想シテ」(6) 本康 宏史

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1 ℡076-262-3236 1986年創刊 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/ ◇98 2011.2 A4 6p 企画展「れきはくコレクション 2010

貸出中の館蔵品/主な刊行物のご 案内/催事日録/行事日程 れきはくトリヴィア 誰が一番美人?

◆加南地方史研究 加南地方史研究会 〒923-0903石川県小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714 1955年創刊

◇58 2011.3 B5 90p 百姓の持ちたる国と越前国歴代守

護・朝倉氏の戦いから何が見え

 てくるのか
 小枝 俊弘

 本堀庄の古伝承とその考察
 中川 榮一

 「江野財臣」の考察
 福田 義光

 万葉集の謎
 山本 恭子

 開拓移民の足跡を追って(1)

ー川先生に導かれて 池端 大二 近世小松の変死事件編年表(2) —

小松旧記に見る小松の町人の生

きざま 大西 勉 史料紹介

救荒本草抜萃

加州小松社倉施印 本 山前 圭佑 小松市 那谷寺文書について(1)

室山孝大川町 酒井長平家文書解題竹下 一郎小松旧記目録編年版(5)山崎みどり

随想 東海道宿場をゆく青空教室

一御油の松並木・二川宿本陣資料館と大井川鐡道SLの旅 橋本 正準 会員消息/活動報告/受贈図書

◆MARUBI

富士吉田市歴史民俗博物館だより 〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1 1560555-24-2411 www.fy-museum.jp 富士吉田あれこれ 富士吉田市のプロフィール 布施 光敏 博物館Report

身禄堂の由来と変遷(中)一田辺 家の御神前から山元講の身禄

♦36 2011.3 A4 8p

堂へ 篠原 武

富士山御師外川家に泊まった人 々(前)―『富士の道の記』の 紹介 菊池 邦彦

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 ™0265-22-8118 www.iida-museum.org ◇21 2011.3 A4 83p 菱田春草《菊慈童》についての一 試論一不変と無常 槇村 洋介 春日曼荼羅の一事例一飯田市個人 蔵春日社寺曼荼羅について 織田 顕行 「信州飯田城主堀侯展」が明らか にした江戸時代の真相(1) 一堀 親塞の国家守護と近世日本の世 界大戦敗北 鈴川 博

南信州の墨書・刻書土器の様相 岡田 正彦

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048 TELO265-22-6017 年5500円 ◇**995**(59-4)2011.4 A5 50p 500円

《考古学特集》

口絵 黒田大明神原遺跡の「顔が ついた土器」 山下 誠一 峠越えする縄文中期下伊那系土器

その一つ 神村 対

上村史余話―伊那山脈越えの経路 をめぐって 宮沢 恒之

喬木村阿島五反田遺跡の調査報告

今村 善興

埴輪船幻想 桐原 健 下伊那地方の古墳時代の鈴付馬具 ・鈴鏡について 木下 政利 平成22年 下伊那考古学年報 岡田 正彦 「完全復元伊能図フロア展」飯伊

飯田市教育委員会

御子柴泰正

◆伊那路 上伊那郷土研究会 〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2 TaL0265-78-6719 年5000円 ◇651 (55-4) 2011.4 A5 40p 500円 《考古特集号》

来訪二百周年

辰野町の発掘調査履歴 福島 永 「戦争遺跡 | の実態(2) - 伊那弥生

ヶ丘高校・南信一円にかけて 飯塚 政美 神子柴文化の探究(4) – 遊動から

半定住生活への胎動 田中 清文 鎌倉時代「工藤文書」にみる小井

弖工藤氏の竜東地域支配と思われる一考

上伊那の野外彫刻(82)

おんな (伊那東小学校) 吉澤 正昭 古文書の窓(99)

神社本殿再建対談書 伊藤 一夫師匠の背中(2)より(30) 苗代 若林 徹男

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 ™10265-22-8118 ◇84 2011.3 B5 8p

櫻井 弘人

飯田・上飯田の民俗調査報告(1) 地域産業と独自の歩み 高橋 寛治 野本寛一著『地霊の復権―自然と

新型インフルエンザの伝承と民俗

結ぶ民俗をさぐる―』を読む 片桐みどり

◆伊那民俗研究

柳田国男記念伊那民俗学研究所 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TeL0265-22-8118 1990年創刊

♦18 2011.3 A5 74p

「平地人」とはだれか―『柳田国男 全集』年譜作成作業からの検証

小田 富英

報告

中島 悦子

レポート 下伊那の民俗研究の歩 みと民俗誌一「下伊那民俗研究 史譜」、20年後の補遺 寺田 一雄

◆市誌研究ながの 長野市公文書館 〒380-0801長野県長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 総務部庶務課 ™1026-232-8050 1994年創刊

♦18 2011.2 A4 138p

はじめに 鷲澤 正一

長野市公文書館開館三周年記念講演 松代地域における近代化にかかわる諸相一維新期から大日本帝国憲法成立期まで、横田家の人びとの動きを辿りながら 上條 宏之真田信之文書の基礎的考察 原田 和彦貞享四年卯六月六日 七月・八月・九月・十月 「江戸日記」の紹介(2)一松代藩江戸家老日記

吉田古文書研究会

近世後期における善光寺町の信用 事情―大本願上人様無尽講をめ

 ぐる試論
 宮崎 正規

 佐久間象山の漢詩(3)
 佐久間方三

弘化四年三月廿五日より五月五日

至 「御役用日記」の紹介(2) ― 善光寺西町宮下銀兵衛「御役用

日記」 長野西高校古文書同好会 ある木造校舎の物語

ー信田小学校記念館 大屋 弘 「学校資料」について

一城山小学校資料から考える 宮澤 崇士 作曲家草川信の人と業績 高木 寛 『市誌研究ながの』投稿規定/長

野市公文書館のあゆみ

表紙解説「松代天王祭絵巻」 米澤 愛口絵解説

信州の名水・秘水「お種池」 池内 朝雄 交通の要衝一長野市篠ノ井地区

滝澤 公男

善光寺大地震の吉村の山崩れに よる災害絵図とその検証 山上 茂司 松代地域の近代化と横田家の人

々 長野市公文書館 市内各地の念仏講(お数珠回し)

細井雄次郎

◆信 濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607 ™0263-36-1785 年8400円 www.shinano-shigakukai.com ◇734 (63-3) 2011.3 A5 88p 900円 横浜開港期における小県上田の牛

糸輸出一小県郡飯沼村吉池家の

生糸取引 阿部 勇

備荒貯蓄制度成立をめぐる基礎的 研究(上)一松本藩とその預領を

事例として 田中 董

近世村落の成立についての一考察

(上)―伊那郡伊久間村を中心と

して塩澤元広

秋季例会研究発表

藤本家文書から見える累代の善

右衛門―善右衛門保右・縄葛

・信汎を中心に 桂木 惠

信濃史学会2010年秋季例会報告

小野 和英

◇735 (63-4) 2011.4 A5 80p 900円 松田智雄と信州―ある戦後農村精

神史への試み 村松 晋

仏法の渡来年次をめぐる一視点

(上) 石川 勝義

近世村落の成立についての一考察

(下)―伊那郡伊久間村を中心と

して 塩澤 元広

備荒貯蓄制度成立をめぐる基礎的 研究(中)-松本藩とその預領を

事例として 田中 薫

セミナー報告

信濃史学会第95回セミナー 小野 和英

◆長野 長野郷土史研究会 〒380-0905長野市七瀬南部14-7 Im026-224-2673 年3000円 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/ ◇276 2011.4 A5 48p 700円 「極付 国定忠治」五幕七場(行友 季風・大正8年作)より 権堂の 場面(2)

小林計一郎の原点(6)

渡辺敏先生伝(4) 小林計一郎

歴代本因坊と信州(6)

十八世秀甫 中田 敬三

講談「真田三代記」(29) 小林 一郎

「新しい視点から見た善光寺と門

前町 |(1月16日)報告

ぱてぃお大門の商家と蔵 田川 賀子 なぜいま門前にひかれるのか 小池 雅久 ◇277 2011.6 A5 48p 700円

長野県北部地震の被災地栄村

東日本大震災・長野県北部地震ア

ンケート(1) 本会幹事 東日本大震災・長野県北部地震ア ンケート(2) 東京に行ってい た方、避難者を受け入れた方 「長沼地震の思い出」 聞き取りか

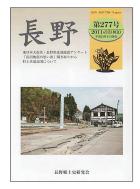
 ら
 高原 英男

 村上兵部高国について
 志村 平治

 歴代本因坊と信州(7)

信州の門人たち

門人たち 中田 敬三



*東北地方太平洋沖地震翌日の3月12日に発生した長野県北部地震は、下水内郡栄村を中心大きな被害をもたらしたが、マスコミ等で報じられることは少ない。長野郷土史研究会では、「直接の被災地以外の様子を将来に伝えていくことも郷土史の役目である」との考えから、4月上旬、県内各地の同会幹事と、当日東京に行っていた人及び震災直後に福島から避難者を受け入れた宿泊施設者に対し、緊急のアンケート調査を実施した。

質問項目は、太平洋沖地震及び長野県北部 地震の時にどこで何をしていたか、地震後に したことは何か、13日以降はどのように過ご し何かしたか、東北地方太平洋沖地震はこれ まで体験した地震と比較してどうか、今回の 地震によって気持ちや体調に変わったことは あるかについてである。受け止め方は様々 で、大きな幅があるが、地震体験の比較にお いては、これまでに経験したことがないほど の規模であったと回答する人がいる一方で、 昭和16年の長沼地震、昭和39年の新潟地震、 昭和40年から5年間半も続いた松代地震、記 憶に新しい平成19年の中越沖地震の方を上げ る人も多く、過去の震災に学び、経験を継承 していくことの大切さを考えさせられた。併 せて、戦時で残された資料の少ない長沼地震 の状況を、平成13年に当時の罹災者から聞き 取った記録も掲載している。郷土史の大きな 役割がここにあるとして、逸早く取り組んだ 同会の姿勢には大変に敬服させられる。全国 の研究団体がこれに続くことを期待したい。

◆長野県民俗の会通信

〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5 巻山圭一方 TELO263-62-6535 年5000円 www.janis.or.jp/users/folk/

♦ 222 2011.3 B5 8p

伝説のなかの佐々木高綱 巻山 圭一 シダレザクラのこと 木下 守 葉書でつぶやくコーナー

個人建立の道祖神について(2) 窪田 雅之 第175回例会案内 事務局

◆松本市史研究 松本市文書館紀要 松本市総務部行政管理課松本市文書館 〒390-1242 長野県松本市和田1058-2 Tel026-347-0040 1991年創刊

♦ 21 2011.3 B5 156p

刊行にあたって 菅谷 講演 近世の農民日記について 高木 俊輔 松本藩奉行所を訪ねて

一嘉永3年~明治4年 橋場 和夫 江戸時代の凶作飢饉の生活中

一広域松本領の地域像 薫 田中 牛伏寺への道標と参詣道

一その広域な信仰圏を探る 浜野 安則 松本近辺の葬儀の行方一東京近郊

の葬儀の変化と比較して 福澤 昭司 正月の塩と飴-松本のあめ市の起

源伝説を追って 木下 守 かき船の沿革 松本 孝子 平成22年度松本市文書館の事業

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会 〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館 内 151.058-275-5111 年2800円 1973年創刊 www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm **♦115** 2011.3 B5 28p 生活環境保全林

ながら川ふれあいの森と 神川 輝男 平成22年度公開講演会抄録 「美 濃浪人 | 所郁太郎の史料探訪ー 青山松任氏の名誉を手懸りとし

功 関市中之保の大字地名由来 土屋 高山藩林業経営の史料紹介(下) 福井 重治 西堀彌市と杞柳産業一岐阜県本巣

郡・宮城県遠田郡における産業

荻久保嘉章 杭瀬川の川湊と船町湊(1) 清水 進 書窓の風

岐阜

織田信長居館推定地の発掘 内堀 信雄 西濃 大野町中・増補編 構墓 孜 美濃 郡上藩凌霜隊 百四十年

記念事業開催される 馬渕 旻修 福井 重治 飛騨 姉小路と廣瀬 郷土関係新刊書目録(101)

郷土関係逐次刊行物文献目録(100)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会 民俗文化研究所

〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538 -32-3546 www4.tokai.or.jp/child-c.j/

♦44 2011.1 A4 6p 女の西浦田楽

浜松市天竜区水窪町 吉川 祐子 東光寺の鬼会

兵庫県河西市上万願寺町 吉川 祐子 **♦45** 2011.2 A4 4p

"西浦田楽"は西浦の祭り 浜松市天竜区水窪町 吉川 祐子

♦46 2011.3 A4 4p 能衆人生六九年

浜松市天竜区水窪町 吉川 祐子 **♦47** 2011.4 A4 4p

やろう祭り!

落ち込まないで静岡県 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学 情報学部 荒川章二研究室内 年4000円 **◇391** 2011.4 B5 8p 200円 4月例会レジュメ 藤枝地域から

見た「明治四三年大水害」 清水 実 2月例会風船爆弾報告始末記 一條 三子 書籍紹介1 樋口雄彦編·解説『海

軍諜報員になった旧幕臣』 小田部雄次 書籍紹介2 『竹下甫水時局日記』加藤 善夫 書籍紹介3 枝村三郎著『静岡県民 の近代史 民衆が歴史を拓く』

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858静岡市伝馬町10-25 中央ビル90 2階 Tm.054-271-9004 homepage2.niftv.com/shizuoka-heiwa/

♦41 2011.3 A4 2p 戦時資料をお貸しします/団体見 学の受入れ&出前授業・出前講 座/「平和文庫」の書籍紹介/ アニメ映画「蒼い記憶―満蒙開 拓と少年たち一|

企画展「つくられた愛国少年・少 女 | 展/常設展「静岡・清水 大空襲 | 一今なお続く世界の武 力紛争

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TELO54-286-8659 **♦130** 2011.3 B5 16p 鉄舟寺から"旅行かば~"でお馴 染み・次郎長ゆかりの日帰り史 跡見学会 旧清水市めぐり 11月14日(日) 大川 誠一

第90回研究会 篠原旭氏の「十返 舎一九の人物像とNHKテレビ の『歴史秘話ヒストリア』| の 概要/林浩三氏の「八王子の千 人同心について | の概要/和田 嘉夫氏の「宝永噴火の記録」の 概要

第91回研究会 大川誠一氏の「家 康の土下座 | の概要/渡辺誠氏 の「宿場の飛脚・飛脚取次所 | の概要/鵜藤満夫氏の「中近世 村落成立史論--駿河国安倍郡水 見色村、初期駿府城の築城との かかわりしの概要

◆駿 河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2 富士市 立博物館内 TEL0545-21-3380 1965年創刊 **♦65** 2011.3 B5 137p

表紙解説 風光明媚な吉原湊 渡邉 繁治 巻頭言 二つの文化活動 渡邉 繁治 渡邉繁治会長を悼む 加藤 昭夫 中興の礎を築いた前会長を偲んで

> 渡辺 誠 和徳

繁治先生を慎む 壽 富士川河岸段丘のムラ(2) 後篇 池谷九万夫 和算を求める 渡邉 照好 日本民家園と鎌倉長谷寺見学 高柳 基雄 吉原城と天香久山砦・その周辺 高田 國義 工藤祐経の子孫と嶋津氏 杉山 熙司 杉山 熙司 曽我八幡宮について(3) 伝馬宿場の飛脚・飛脚取次所 渡辺 誠 甲駿を結ぶみち今昔物語(2) 高柳 基雄 幕の内弁当・歌舞伎にみる曽我物 松野 紀一 秋の信濃路見学旅行 高柳 基雄 釈迦堂遺跡と富士山信仰の軌跡を 高柳 基雄 会議(総会・理事会・事務局会議・ 各専門部等) の活動報告 ◆愛知県史研究 愛知県総務部法務文書課県史編さん室 〒460-0002名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 TEL052-972-9171 1996年創刊 www.pref.aichi.jp/kenshi/ **♦15** 2011.3 A4 234p

口絵 大島風物図屏風 今川氏の尾張進出と弘治年間前後 の織田信長・織田信勝 村岡 幹牛 愛知の白山信仰

利用した徴兵猶予の実態一旧愛 知県海部郡佐織町域(現愛西市) を事例として 石田泰弘/池山弘 研究ノート 愛知県綿業界におけ る「とば長」の位置一津島にお ける朝鮮向け輸出綿糸布商 伴野 泰弘

村中 治彦

渥美窯製品にみられる刻文につ いて一ヘラ描き記号文を中心

一尾張地域を中心に

資(中)料紹介

34

戦前期における移民と海外渡航を

として 安井 俊則 三大公園の創造―中村公園改良 策・清須公園設計案・岡崎公

園設計案の紹介 石川 實

株式会社いとう呉服店の創立背 景一呉服商から百貨店業への

調查報告

転換過程

末田 智樹

円福寺の善導大師像 伊東 史朗 扶桑町・正覚寺及び江南市・音

楽寺の円空作十二神将 小島 梯次 特別企画

歴史の発展法則を追い求めて 塩澤 君夫 楢崎彰一さんを偲んで

岩野 見司 追悼 楢崎さん 猿投山西南麓古窪跡群発掘の

ころ 八智 晋

愛知県史を語る会抄録

尾張・三河古代資料の魅力

三河入道寂照と古代仏教史の

上川 通夫

『尾張国郡司百姓等解文』に

ついて

三河・尾張戦国史像の新段階

織田氏諸流の興亡と信秀・信

青山 幹哉

織田・今川のはざま

一弘治年中西三河の動向 村岡 幹生 今川義元と東三河 山田 邦明

近刊市町村史誌紹介 稲沢市史資 料第四十六編『神明社文書・本 源寺文書 |、『新修名古屋市中| 資料編「近世2」、『幡豆町史 資料編2 近世』、『新編 三好

町誌』資料編

各部会の活動状況

総目次・索引

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会 〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1 刈谷市中央図書館内 TeL0566-25-6000 1980年創刊

♦32 2011.3 A5 89p 文化講演会 江戸積み三河酒の衰 退をめぐって―神谷和正編『近

世三河の酒造業』を中心に 吉永 昭 中条遺跡 備忘考 伊藤 利和 高須新田の開発過程

―絵図を中心とした考察 加藤 俊彦 市原稲荷神社の由来と例祭 平井 芳男 深見篤慶研究ノート 山田 孝 加藤 加藤紫軒「菊花図|画賛 刈谷の土管屋さん

- 三河の陶管業の推移 内藤 良弘 加藤与五郎と高山樗牛・島崎藤村

鈴木 哲

市内研修会

「幕末・維新の刈谷 |を訪ねる 岡本 建国 県内研修会

半田市の歴史文化を学ぶ 稲垣 光子 平成22年度 刈谷市郷土文化研究 会の歩み

◆郷土文化 名古屋郷土文化会 〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TeL052-741-9822 年3000円 1946年創刊 ◇214 (65-2) 2011.3 A5 74p 1500円 修験林昌院と勧進相撲 石里 智教 図絵に見る尾張の街道風景(7) 櫻井 芳昭 明治初期の用水と村点描(上) 中村 保夫 「名古屋市守山区上志段味の歴史」

補潰(2) 大野 哲夫 味岡山香積院・般若台考(3) 一愛

知県における菅江真澄研究(2) 宮澤 和夫 崩れた「思い」

- 早瀬長兵衛と泰亨車 半田 実 会員著作紹介

『新編三好町誌 史料編』 櫻井 芳昭

第41同研究会発表要旨

清正公信仰について 田中 青樹

◆新修名古屋市史だより

新修名古屋市史編さん事務局 〒461-0011名古屋市東区白壁1-3 名古屋市市政資料館 TEL052-953-0051 1992年創刊

♦ 29 2011.3 A4 16p 第26回「新修名古屋市史を語る集 い から 資料編 「考古2」の 内容を紹介 資料編「考古2」

歴史遺産の宝庫 名古屋城一築

城四百年に考える 木村 有作

名古屋城下町の考古学

一発掘調査の成果から 水野 裕之

『新修 名古屋市史』 資料編(7巻)・

本文編(全10巻)発売中

公文書等の公開について/表紙の 説明 名古屋汎太平洋平和博覧 会ポスター・焼失前の本丸御殿 と天守閣

資料編「近世3|刊行にあたって 吉永 昭

◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会 〒489-0867愛知県瀬戸市大坂町416-9

伊藤良吉方 TELO561-84-7044 1971年創刊 **♦58** 2011.3 B5 44p

《「マチと都市の民俗を考える」特集号》

民俗学における都市研究 倉石 忠彦 高山祭の祭祀組織「屋台組」につ

いて一日枝神社山王祭(春の高

山祭)の事例から 須永 敬 歌から見た渋谷 長野 隆之

自治体史編さんとマチ・都市の民 俗 服部 誠

- ◆まつり通信 まつり同好会
 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
 1元0567-37-0441 年5000円
 ◇552 (51-2) 2011.3 B5 8p 600円
 群馬・東矢嶋の獅子舞 石川 博司
 調査報告 宮島 社寺のまつり
 厳島神社・大聖院の鎮火祭(晦
 日山伏) 米田 幸寿
 新国指定・登録・選択の民俗文化
 財一平成23年1月21日文化審議
 会答申
 富山大谷の御神楽見学記 鷲野 正昭
 受贈資料紹介/4月のまつり/5月
- ◆民俗と風俗 日本風俗史学会中部支部 〒465-0064名古屋市名東区大針1-204 衣の民俗館 1m052-701-7568 年5000円 ◇21 2011.3 B5 197p 名古屋城石垣刻紋考(3) 窪 佳世 戦時統制期の鈴鎌毛織工場関連資 料とその目録(2)一経理・技術 資料を中心に 横川 公子 瀬戸内海地域における名菓の成立 一内国勧業博覧会記録にみる香 川、愛媛の事例 橋爪 伸子 三内丸山ムラからみえてくるクリ 林 横井 國人

上条耿之介 京鹿の子絞り振興と伝統技術の継 承一京都絞り工芸館の取り組み を通して 吉岡健治/清水久美子 中山服の研究

浮世絵師國芳画く「夏炉冬扇」考

―製図の分析を中心に 乗松佳代子

教材研究 欧米文化圏能楽初心者 向け狂言教材の研究―「棒縛」 を中心に ウィリアム・ペトルシャック / 飯塚恵理人

袱紗の「懸鯛文様」に籠められた折り 山蔭 宏子江戸時代前期の玉の輿 里見 和彦短歌 小西八千代/斉藤芳子/田中きぬゑ書評/第22回学位論文報告要旨

◆史 料 皇學館大学史料編纂所報 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704 TELO596-22-6462

◇229 2011.3 B5 18p 300円三重県度会郡における勤勉貯蓄一明治十八年農商務省『済急趣意書』の実践 川越 美穂播磨と出雲―『播磨国風土記』にみえる出雲国人の往来をめぐっ

て 荊木 美行 いにしえの伊勢(9)ー絵葉書・古 写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
皇學館大学文学部国史学科研究室
〒10596-22-6456 1986年創刊
kokushi.kogakkan-u.ac.jp
◆26 2011.3 A5 110p
御霊信仰の成立と展開 南 かおり
二・二六事件と陸軍 魚岸 一弥
彙報 皇學館大學史學會平成22年
度活動報告/平成22年度修士論
文及び卒業論文題目/平成22年
度教員並びに講義/平成22年度

研究旅行

◆三重県史研究

三重県生活・文化部文化振興室 〒514-0006三重県津市広明町13 Im059-224-2057 1985年創刊 ◇26 2011.3 A5 128p □絵 三重県立農事試験場・本県 特産品 摂関期の公卿勅使と祭主祈祷 飯田 良一 大神宮法楽寺・法楽舎考 佐々木裕子 三重県下の善光寺式阿弥陀三尊像 について 神谷麻理子 研究ノート 多度神宮寺資材帳の周辺 小玉 道明

研究余禄 『飯野・飯高郡条里図』 について 稲本 紀昭 研究ノート 「喜劇」の先駆者 曾我廼家十郎―松阪出身の喜劇 俳優 前田 憲司

◆三重の古文化

三重郷十会

〒514-0006三重県津市広明町252 茅原弘方 1m059-228-0783 年3000円 ◆96 2011.3 A5 166p 平忠盛 伊勢平氏の恭倹 加山 久富 伴信友と上田百樹の多度寺資財帳 写 小玉 道明 伊勢長野氏と熊谷之町長野喜三 長野 統 庄屋の日記から見る街道村落の様 相一小向村庄屋の生活と役務を 中心に 藤谷 彰 江戸時代の新長谷寺本堂再建につ いて 菅原 洋一

三重県桑名市多度町浄教寺鬼瓦類 水谷憲二/久保友香理 資料紹介 近世期雲出川水利関係

文書と川口井旧跡 吉村 利男 鈴鹿市磯山銅鐸出土地点の確定

一百三十余年ぶりに判明 清水 重久
小川勇吉を語る 小川雅子の証言
一日本初の恐竜骨格標本を国立
科学博物館に寄贈 萩原 正夫
伊賀地方と三重郷土会一続々 考
古少年のノートから 岩野 見司
2010年、三重の文芸事情 藤田 明
三重県指定史跡「鳥羽城跡」の現
況と「保存管理計画書」の具現
化 村上 喜雄
鈴鹿海軍航空隊格納庫の保存運動

文化財の有効活用を目指して一い なべ市郷土資料館の活動と課題

松本 覚

「紀宝町ふるさと資料館」

一活動と文化財の保存 福村 直人 追 憶

和田年弥さんを悼む 伊藤 久嗣 四十年の学恩とお人柄を慕いて

石井 昭郎

史料復刻 鈴鹿市「中尾家文書|

(2) 三重郷土会古文書勉強会 新刊紹介 水谷憲二『戊辰戦争と

「朝敵」藩一敗者の維新史一』石神教親新聞記事から浅生悦生事務局日誌茅原弘

近 畿

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1 ℡0749-22-6100 www.city.hikone.shiga.jp/museum/ ◇**92** 2011.3 A4 4p

テーマ展「直弼発見!井伊直弼の 藩政」/テーマ展「国宝・彦根 屛風」/テーマ展「近代の書聖・ 日下部鳴鶴」

36

のまつり

金亀玉鶴 井伊直政を偲ぶ人々 一井伊直政150回忌について 青木 俊郎 修理報告 能面 童子 お知らせ/スケジュール/催し **♦93** 2011.6 A4 4p 資料紹介 金梨地葵文蒔絵鞍 真野 順之 展示案内 6月~9月 5/20~6/21 展示室1・2 近代の書聖・日下 部鳴鶴/6/24~7/26 展示室1 藍の彩り一染付の世界/7/29~ 8/30 展示室1・2 井伊の赤備 え一朱と金の勇姿/9/2~9/27 展示室1 肥田の古墳・城・村 一大地に刻まれた記憶 催し/スケジュール 研究余録 金亀玉鶴 「彦根更紗」の成立を探る 奥田 晶子

◆民俗文化 滋賀民俗学会 〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5 Tm:0740-36-1414 年4800円 sigaminzoku.fc2web.com ◇570 2011.3 B5 12p 400円 島国で生きてきた日本人一為政者

観 菅沼晃次郎 第二次大戦中のどんぐり食につい

て 吉岡 郁夫 小谷落城と浅井一族の伝承(5) —

によって変わる生活環境と人生

浅井家臣団の悲劇と湖北の戦後

処理 馬場杉右衛門

浅井三姉妹の初と京極高次の城

一近江八幡山城 長谷川博美 探訪·姉川古戦場(2)

ー家康本陣と野村川原 馬場杉右衛門 ウサギの俗信と諺 馬場杉右衛門

二等兵比島従軍記(3)

一経理部幹候隊 馬場杉右衛門

糸電話と糸脈について 粕渕 宏昭 火打石と火打ち鉄(がね)について

粕渕 宏昭

滋賀の石造文化財(中世)の概観に

ついて(10) 福沢 邦夫 「きしゃく(耆著)」について 粕渕 宏昭 ◇571 2011.4 B5 12p 400円 日本人はつねに時の権力者に従順 だー多神教を容認できる農耕民

族 菅沼晃次郎 カタバミの民俗知識 吉岡 郁夫 小谷落城と浅井一族の伝承(6) —

信長、万福丸惨殺とされこうべ

の盃 馬場杉右衛門 江越の城郭地名と正壇城 長谷川博美 探訪・姉川古戦場(3)

一竹中半兵衛と藤堂高虎 馬場杉右衛門 滋賀の石造文化財(中世)の概観に

ついて(11)福澤 邦夫火吹竹について粕渕 宏昭ふいご(鞴)について粕渕 宏昭ニゴイについて粕渕 宏昭二等兵比島従軍記(4)ータルラッ

馬場杉右衛門

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字 竜光3 『EL075-952-6288 1995年創刊

♦17 2011.3 A4 32p

調査・研究報告編(19) 小企画展 「応仁・文明の乱と大山崎の油

クからストッチエンバーグへ

売り 展示資料について 福島 克彦

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会 〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る 松蔭町138-1 京都市歴史資料館内

◆古代史の海 「古代史の海」の会 〒615-8194京都市西京区川島粟田町22 中村修方 FAX075-392-3743 年4000円 www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/ ◇63 2011.3 A5 108p 1500円 券頭言

「大和は国のまほろば」の深層 半沢 英一 2010年・古代史総括 森岡 秀人 飛騨の宿儺伝承の要説と再考 尾関 章 会員ひろば

祭祀でよいか 渡部 正路 出雲古墳見学記 竹本 義昭 アンデス通信(16) 市木 尚利 半沢英一『邪馬台国の数学と歴 史学』を読む 中村 修 上代特殊仮名の根本的解明(17) 坂田 隆 日本、日の丸を音価から遡行する

(後) 白名 一雄 卑弥呼と宇佐神宮比売大神(3) 鷲﨑 弘明

◆史迹と美術 史迹美術同攷会 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入 西大路町146 中西ビル内 FAX075-441-3159 年8000円 ◇813 (81-3) 2011.3 A5 34p 915円

◇813 (81-3) 2011.3 A5 34p 915円 清寧·顯宗·仁賢·継体紀小考(下)

田寺 英治 若沢寺跡阿弥陀来迎三尊種子板碑

太湖石について

 一洞窟のない庭園史
 寺本 健三

 鰐口の銘文(14)
 愛甲 昇寛

 第955回例会前日会
 東京・根津美術館
 矢ヶ崎善太郎

 第955回例会
 横浜・三渓園
 矢ヶ崎善太郎

◆都藝泥布 京都地名研究会通信 〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15 糸井通浩方 ™0774-44-7636 年3000円 www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇36 2011.3 A4 8p 第30回京都地名フォーラム報告 地名となった寺院一京丹後市の 事例から(小山元孝) / 移りゆく 王権 タカノからヤマトへ(奥

土権 タガノがらヤマトン(奥村清一郎)/丹後にアイヌ地名

はあったか(吉田金彦) 清水 弘記 随想 峰山フォーラム体験記 上野信太郎 京の地名俳句を観る(1) 尾崎聖二郎 京都地名研究会10周年(2011年)記

念事業

三月の一筆あれこれ 吉田 金彦 新刊紹介 筒井功『日本の地名一 60の謎の地名を追って』、谷川 健一『列島縦断地名逍遥』 糸井 通浩

◆土 車 古代学研究所だより

〒604-8205京都市中京区三条大路北·高倉 小路西 Tet.075-252-3000

www.kodaibunka.com **◇121** 2011.3 B5 6p

ポンペイ遺跡発掘調査の集大成 『ポンペイ遺跡カプア門発掘調

査報告書』刊行 江谷 寛 慶州鶏林路14号墓宝剣の再検討 穴澤 咊光

随想 年齢の数え方 角田 文衞 国際シンポジウム ポンペイとオ

スティア 古代ローマ都市発掘

の最前線

◆立命館平和研究

立命館大学国際平和ミュージアム紀要 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 Tel075-465-8151 2000年創刊 www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/

♦12 2011.3 A4 71p

刊行にあたって

高杉 巴彦

巻頭論文

安保条約と「脅威論」の展開 豊下 楢彦 「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」

建立運動の現状と開示裁判資料 の意味 昆谷延子/水野直樹/安斎育郎 社会科授業における「戦争と平和」 へのアプローチ―単元「戦争と

角田将十/渡邉巧

美術鑑賞を柱にした無言館の学習

は何かしの開発を通して

高松 智行

名誉館長・館長声明/共同アピー ル/立命館大学国際平和ミュー ジアム事業報告

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 Tel075-465-8151 www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/

♦ 52 (18-3) 2011.3 A4 20p スポット ミュージアムの所蔵品

(49) バッジ

巻頭つれづれ

埋め尽くす、困ったクセ 安斎 育郎 館長だより ロボットと人間の心

高杉 巴彦

ミニ企画展開催報告(2010年10月 ~2011年1月)

ここが見どころ 大学立の平和博

物館を特色づける展示とは 小関 素明 ミュージアムおすすめの一冊 マ イケル・サンデル著 鬼澤忍訳 『これから「正義」の話をしよう』 (早川書房 2010年刊) 角田 将十 事業報告/チャレンジ体験受け入 れ/2009年度 資料・図書など の寄贈者一覧/立命館附属校平 和教育実践展示に関わって/平 和へのメッセージ

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TRL0724-28-0204 年1200円 **♦279** 2011.3 B5 10p 史料紹介 「水間鉄道延長紀泉鉄 道設置認可に対する意見書

(下) 宮田 克成 大宮神社の宮座(2) 上田 繁之

昭和26年10月14日 ルース台風・ 昭和27年7月10日 豪雨災害・昭

和36年9月16日 第二室戸台風 北山 理 **◇280** 2011.4 B5 10p 史料紹介

「和泉往古城跡」について 井田 寿邦 聞書 「東庄屋」こと吉田家の事

ども 北山 理 史料紹介 戦後の泉佐野漁業(5) 事 務 局

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会 〒572-0824大阪府寝屋川市菅島東1-6-17 Tel072-823-2486 1993年創刊 www.eonet.ne.ip/~minshusi/ **◇65** 2011.3 A5 118p 1000円

八尾に残る戦争遺跡一旧陸軍大正 飛行場にある戦争文化財 大西 進

手塚治虫の戦争と空襲(上) 菅 富士夫

日露戦争の濱寺収容所天下茶屋分

所と非ロシア系兵士一特にポー ランド人問題について 林 耕二 市内東淀川区に残る高射砲台陣地 跡 滝川 恵三 華北平原横断バスの旅(下)―三国 志の舞台と内陸部の今 襄樊~ 南陽~許昌~商丘~徐州~台児 莊~淮安 高谷 均 表紙きりえ サマルカンド 宮本 保夫 グラビア 大阪関帝廟・観音会で 精進料理に舌つづみ一中国江蘇 出身華僑の親睦会に参加して 二宮 一郎

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 TELO6-6931-1081 年5000円 1984年創刊 blog.goo.ne.ip/rekisitannbou/

♦319 (28-3) 2011.3 B5 12p

浪速今昔百景(2)

高津宮と報恩院 川村 一彦

2月例会報告(第294回) 「大坂城 石垣石のたどった道一産地から 大阪まで | 大澤研一氏/「家紋 の移転」吉川三郎先生

千葉周作の出身地と名刀の謎(17) おわりに

人足寄場 山崎 保雄

♦320 (28-4) 2011.4 B5 12p 浪速今昔百景(3)

「坐摩神社」いかすり 川村 一彦

第295回例会報告 「一ノ宮の祭神 と神々の系譜――ノ宮信仰の成 立と意味・一ノ宮祭神の分布を 見れば古代が見えてくる|川村 一彦氏/古文書講座(第126回) 「三分一減醸令 | 石川道子先生

東日本大震災の復興の象徴へ 名 勝「高田松原 | 奇跡の一本の松 ◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TELO6-6361-6212

♦64 2011.3 A5 93p

訃報 酒井一会長

創立35周年記念行事の概要 事 務 局 シンポジウム

大塩の「水戸藩買米斡旋疑惑」に

ついて 相蘇 一弘

近世大坂研究の諸流 藪田 實

大塩平八郎が向き合った時代 酒井

討論と質問

大塩平八郎のこと(行事参加記) 井上 泰行 歴史意識から見た頼山陽と大塩平

八郎 森田 康夫 大塩と私(13) 井形正寿氏 久保 在久 大塩の乱から見る江戸時代の千手

界隈 井上 宏 「春風生福寿 | の扁額 小西 利子

大塩平八郎と東北大学を結びつけ

た木下杢太郎 小西 克久 事務局担当22年 久保 在久

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327 TeL072-251-2586 年2400円

♦328 2011.4 A5 26p

河童の文化史 平成期(9) 和田 實

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13

上本町YUFURA 7階

Tel06-6775-3686 年2200円

◇737 2011.4 A4 10p 300円

天誅組と十津川郷士 来村多加中

大和の十三重石塔

一盆地南部と宇陀地方 狭川 真一

奈良県立橿原考古学研究所附属博

物館 春季特別展「弥生の里ー くらしといのりー」

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会 〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5 原泰根方 №06-6709-8533 2009年創刊 ◇7 2011.3 A4 4p 野里住吉神社

一夜官女祭見学記のことなど 藤井 裕之 靱公園のクスノキの巨木をめぐっ

て 伊藤 廣之

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館 〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7 Im078-453-4980 1981年創刊 homepage2.nifty.com/fukae-museum/ ◇39 2011.3 B5 16p 深江物語(1) —昭和20年代の駅前

界隈を歩く 森口 健一 東灘区区制60周年写真展に協力 大国 正美 打出焼と精道村尚歯会 藤川 祐作 神戸深江生活史料館が創立30周年

深江の青年団と夜学会 大国 正美 史料館入館者7万人達成

「史料館だより」の電子公開 高田 祐一 資料登録カードとデータベースの

連携一兵庫県ヘリテージマネー

ジャー養成講習会での公開 水口 千里 資料登録カードのデータベース化

高田 祐一

トライやる・ウィークと史料館— 本庄中学校の生徒を受け入れて

 水口 千里

 史料館日誌抄
 道谷 卓

Tel079-442-0658 1986年創刊

♦ 54 2011.3 B5 8p

具平親王神社と賀古駅家 打田 三郎 明石空襲を考える 牛尾 延登

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17 西宮神社内 Tel0798-33-0321

◇517 2011.4 B5 8p 平成23年度総会開催 神の名をつけた漁船

恵比須丸誕生の由来 東海道新景観(12) 吉井 貞俊

◆年報 赤松氏研究 赤松氏研究会 〒341-0037埼玉県三郷市高州3-458-1-21 渡邊方 2008年創刊

| 後週月 | 2008年期刊 | www.rak2.jp/hp/user/akamatsushi/ | 令4 | 2011.3 | A5 | 97p | 1000円 | 戦国期一条氏の家領維持政策に見

る福原荘と幡多荘 中脇 聖 戦国期播磨国における「地域権力」 の形成過程一播磨国清水寺を通

じてみた依藤氏を中心に 畑 康明 美作国後藤氏の権力構造 渡邊 大門 書 評

大西泰正著『豊臣期の宇喜多氏

と宇喜多秀家』 片山 正彦 渡邊大門著『戦国史研究叢書7

戦国期赤松氏の研究』 中村 直人 赤松氏文献日録稿(2010年1月~12

月分・補遺) 渡邊 大門

◆播磨学報 播磨学研究所

〒670-0032兵庫県姫路市新在家本町1-1-22 兵庫県立大学新在家キャンパス内 IEI079-296-1505 年2000円 1994年創刊 研究会活動報告 酒井家文書研究 会/亀山雲平手記を読む会 現地見学会/これまでに出した本 /播磨学のあゆみ

◆あかい奈良 グループ丹

〒630-8144奈良市東九条町6-4 TELO742-62-3408 年2500円 www.akai-nara.net ◇51 2011.3 A4 46p 500円 現代工芸の「あか」 木精の器 角盛り皿 新倉晴比古作 特集 大和あやかしがたり

大和彩食館 奈良で出逢ったしあ わせの一皿 野生味あふれる赤

まなを冷製パスタで

大和モノまんだら

笠一田植えの呪物 鹿谷 勲

心の風景 だれ―ヒメレンゲと清

流 井上博道/西村博美

あかい奈良インタビュー 春日大 社宝物殿学芸員 松村和歌子氏

歴史と出逢う場所 斑鳩文化財センター

特集 撮っておき写真館

桜・爛・漫

記紀の迷い道 『古事記』の立役 者 稗田阿礼と太安萬侶の永眠 の地に迫る

あかい奈良が行く古社寺巡礼 明日香村 橘寺

季の瞬 佐保姫 矢野建彦/矢野桃苑

◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊 www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/ ◇13 2011.3 A5 81p 1000円 全国水平社創立に関する三好伊平 次(内務省社会局嘱託)「復命書」

手島 一雄

松村 徳子

伊東 航

植民地主義と「複合差別」を考え

る「私的」ノート

全国水平社発祥の地から水平社運

動と戦争・天皇制を考える 仲林 弘次

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

〒631-0062奈良市帝塚山7-1-1 TEL0742-32-5708 2000年創刊 ◇13 2011.3 B5 74+23p 京保年期における佐野川万夢の

享保年間における佐野川万菊の江

秋田藩における鉄砲使用と狩人の

戸下りについて

関連性 池端 夏実

備前国和気郡益原村「杉本家」所 蔵資料から見る不受不施派信仰

の実相 平松 典晃

摂津出土の中世瓦編年 木村 友紀

『帝塚山大学大学院人文科学研究 科紀要』既刊目録

◆奈良県立同和問題関係史料センター 研究紀要

〒630-8133奈良県奈良市大安寺1-23-1 ™10742-64-1488 1994年創刊 ◇16 2011.3 A5 123p

中世大和「盲目」に関する研究―

「西金堂大行事方引付」を主材

料として 山村 雅史

奈良町木辻遊郭史試論 井岡 康時 部落差別撤廃運動の思想的基盤―

中村甚哉における伝統の継承 奥本 武裕 民俗社会の地域的差異について

一庚申塔婆の形状とその分布 津浦 和久 特別寄稿

「部落史の見直し」の回顧と展望

吉田栄治郎

中世大和の葬送と墓制 狭川 真一

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会 〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊 wakayamachihoshi,hp.infoseek.co.jp

♦60 2011.3 A5 96p 西岡虎之助コレクションの全体像 についての覚書―西岡民衆史学

研究事始

海津 一朗

研究ノート

和歌山市朝日出土滑石製宝塔の

成立年代 北野 隆亮 西岡虎之助所蔵の荘園絵図影写

本の行方 林 晃平 「瑞芝焼」名義考 中村 貞史

実践報告 笠田歴史探訪フィール

ドクーク 山口 康平 新刊紹介 薗田香融編著『南紀寺

社史料』 竹中 康彦

動向 情報公開制度,個人情報保

護制度と公文書制度 隆宏 地方史のひろば

地域と歩む祭り一真国御田から

見る地域芸能 海津由布子

円珠院における石造物の経緯と

福塚降介/江本英雄 研究余禄 紀州ゆかりの人物年表

(1) 紀州徳川家女性関連年表

について 山下奈津子

彙報 和歌山地方史研究会の活動

中国・四国

◆北東アジア文化研究

鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854 TELO858-26-1811 1995年創刊

♦33 2010.3 A5 41p

韓国の音楽教科書における日本の

歌の導入一「さくら」の取り扱

いを中心に 藤井 浩基 竹島=独島漁業の歴史と誤解(1) 朴 炳渉 鳥取県と韓国との交流における北 東アジア文化総合研究所の役割

野津 和功

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市石関町2-1

Trl.086-233-2505 **♦30** 2011.3 A5 354p

歴代岡山藩主と林原美術館所蔵品

浅利 尚民 備中漆の再興 高山 雅之

岡山県の植物は今

一増えた植物、減った植物 狩山 俊悟 岡山の鉄道遺産とその背景 小西 伸彦 「池田光政公御涼所跡」整備

◆きび野 岡山県郷土文化財団 〒700-0813岡山市石関町2-1 Tel086-233-2505

♦121 2011.3 A5 14p 表紙説明 雪舟等楊筆『山水図

(倣玉画)』 守安 収

随 想

局長もビックリ箱!

一岡山局80周年 兼本 伸樹 消えた宿代 浅沼 郁男 岡山の人物 坂野鉄次郎 信江 啓子 岡山の自然 キビヒトリシズカ 片岡 博行 岡山の文化財 岡山県立津山高等

中山 勇

わが町・わが村の自慢

学校(旧岡山県津山中学校)本館

ふるさとの想い出 竹久夢二が遊 んだ高星神社(瀬戸内市) 文化財団ニュース

◆倉敷の歴史

倉敷市総務局総務部総務課 〒710-1398岡山県倉敷市箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151 www.city.kurashiki.okayama.ip **◇21** 2011.3 A5 114p 特別寄稿 将棋人生と大山名人 有吉 道夫

富川達安をめぐって一豊臣期宇喜 多氏権力の一断面 大西 泰正 幕末維新期の備中における紙幣発 行について-玉島請札と大内再

興札を中心に 古賀 康士 ノート 木村蒹葭堂と備作の人々

小野 敏也

聞き書き昭和史

私たちの歩んだ道 内田錬太郎/内田訓子 中料紹介

屏風下貼り文書の中の守屋鞭太

内池 英樹 安原太郎・犬養毅・星島二郎関

係書簡 前田 昌義 郷土史家紹介 大森一治一その事

績と著作目録 大森 久雄 史料群紹介 倉敷市所蔵備中国浅

口郡阿賀崎村小谷家文書 畑 和良 アラカルト

新渓園の狛犬 藤原 好二 高梁川改修工事と一の口水門の

「導水路」 報告 総務課歴史資料整備室の利

用案内 新刊紹介

◆広郷十史研究会会報

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4 呉市広公民館内 Tet.0823-71-0706 1998年創刊

♦102 2011.3 A4 18p

広村庄屋多賀谷家没落の謎 上河内良平 藤田家文書 第〇章 藤田家財産

目録・起業資料集と関連文書 Q-1広島水力発電所基本資料

小栗 康治 付 禹範善殺害と長春の消息 小栗 康治 雷気自動車の想い出 大倉 正明

東広島郷土史研究会よりのお知ら せ/古文書部会の報告/平成23 年度新年互例会の報告/例会の 主な感想/例会報告

◆広島民俗 広島民俗学会

〒739-1521広島市安佐北区白木町三田2810 栗原秀雄方 TeL082-829-0341 1974年創刊 **◇75** 2011.3 A5 42p 500円 基調講演 芸備の田植え行事 藤井 昭 シンポジウム 塩原の大山供養田 植をめぐって

高尾覚/有田洋人/松井今日子

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂 2747 中畑和彦方 TeL0824-44-2753

♦84 2011.3 B5 18p

志和地の義民 蔦蔵 立畑 春夫 近世五輪塔の展開一市内の近世年

号の五輪塔調査から 中畑 和彦

三次地方の地名あれこれ(18) 茶 が原(ちゃがはら)/常香郡(じ

ょうこうぶ)

児島学生服資料館(倉敷市児島)

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27 ™0848-62-2935

◇241 2011.4 B5 12p

今月の各地 岡岷山考 田邊 達雄 浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換

文(3) 福岡 幸司

春のハイキング「畑(葉田)竜王山

と周辺巡り」のご案内坂井 吉徳角屋と上月氏(8)上田茂/大谷和弘

三原英学史考(4)

田邊 達雄

◆やまぐち学の構築

山口大学研究推進体「やまぐち学」推進プロジェクト 〒753-8511山口市吉田1677-1 TELO83-933-5000

◇7 2011.3 B5 146+12p

巻頭言

幕末期萩藩財政史研究序説 田中 誠二 萩藩後期の山代紙 田中 誠二 平郡島における舸子役と漁業権 木部 和昭 林勇蔵家の歴代履歴と累積文書に

ついて-林家文書目録データベ

ースによる再見 中野美智子 明暦二年萩藩江戸上屋敷普請関係

史料 森下 徹

近世氷上山境内の広域差図とその

細部構成 真木 隆行

山口県内における山陰系刻目突帯

紋土器 中村 友博

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 1m088-668-3636 www.museum.tokushima-ec.ed.jp

♦82 2011.3 A4 8p

えびす木偶人形と出土した中世の

木偶頭 磯本 宏紀

Culture Club

アサギマダラの調査から 大原 賢二 平成23年度第1回企画展「人形・ひとがた一祈りから遊びまで」 情報ボックス デジタルデータからレプリカをつくる 魚島 純一野外博物館 吉野川の砂金 中尾 賢一 Q & A 古文書「飯尾常連奉書」 は、以前展示されていた実物と 形が違いますが、どうしてです

長谷川腎二

◆秦史談 秦史談会

か?

〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎方 1元088-875-6671 ◇162 2011.3 B5 61p 表紙説明 60年ぶりの狛犬復元

(土佐神社) 松下 政司

グラヴィア 秦泉寺城址(大谷城)

高知市の今昔地図 片岡健吉のことなど 広谷喜十郎

俳句春逃す西方郁子雪の降る街広谷雅子

岡田以蔵(1) 岩﨑 義郎

ローカルジャーナル 秦史談

(『高知新聞』より)

短信 安藤 美智 明智左馬之助光春 湖水渡り 松本 紀郎 戦後史 あ、モンテンルパの夜は

更けて 毛利 俊男 読後感(毛利先生へ) 森 廣幸

チョボクリの虎兄(『土佐の民話』

土佐民話の会から) 藤本 知子

民権ばあさん物語「馬とはちきん

さん | (21) 板垣殿の漕難

久米生太子/藤本知子

秦の昔話 その25 中谷の巻

磯本 宏紀 夢から建ったお墓 永野美智子

茶人大名・織田有楽斎広谷 雅子ヤタガラスと熊野信仰広谷喜十郎織田さんを偲んで松本 紀郎チエリ抄(16)永国淳哉/藤本知子岡村庄造氏拓本集から(23)岡村 庄造

九州・沖縄

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室 〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰 府市文化ふれあい館内 151092-921-2322 2007年創刊 dasaifu.mma.co.ip

♦ 5 2011.3 A4 90p

大宰府条坊の基礎的考察 井上 信正 対馬太平寺 貞治六年銘 木造地 蔵菩薩坐像-大檀那少弐頼尚・

仏師湛勝 八尋 和泉

宝満山近世墓碑銘にみる墓地と坊

跡の平面構造 岡寺 良

研究ノート 蒙古使趙良弼宛南浦

紹明詩文の再検討 朱雀 信城

文献目録 九州探題関係文献目録

一今川了俊 川添昭二/朱雀信城

資料目録 市史資料室所蔵資料目

録 高原(日)家文書

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1 TeL0955-73-3549 年2000円

♦ 185 2011.3 B5 16p

佐賀県重要文化財

 木造馬頭観音立像
 志佐 惲彦

 榊原家の旧寺沢家臣団
 寺沢 光世

 殿様を困らせた大盗賊(4)
 岸川 龍

坂本平太郎さんの日記から(3)

捕鯨と唐房 堀川 義英 大韓民国公州市より名誉市民称号

授与さる 熊本 典宏

唐津の地域民が守ってきた文化財

(2) 一東松浦郡の旧町村編(2) 中里 紀元 古文書資料 赤子養育の歌 濱口 尚美 『虹の松原 四季』一写真と詩 古川 工 大島館守りのあや 式島 若彦 佐賀新聞に見る『佐賀県近代史年 表 明治編 下巻』に見る唐松 関係の登場人物 市丸 利幸 破綻した小笠原氏の財政再建策 山田 洋

◆嶽南風土記 有家町史談会

〒859-2203長崎県南島原市有家町尾上2031 -6 山田泰造方 TEL0957-82-0037 1994年創刊

◇18 2011.2 A4 146p 1000円 有馬島原に派遣された幡随意上人

『幡随意上人諸国行化傳』の紹

介と翻刻 根井 浄

追悼 吉江冬一郎 ふるさとの歌

/夕焼空/旅愁の詩人/故人あ

とがき 吉江冬一郎

十着化と言葉 日本におけるキリ

スト教 下川 英利

夕 日 井上 星峰

キリシタン大名のセミナリオ誘致

対策 デ・ルカ・レンゾ

島原半島内の四面宮(温泉神社) 酒井 秀敏 日本における初期キリシタン時代

の墓碑(1)-とくに日本伝統の

墓石から見たキリシタン墓碑の

特異性とその造立次期について

大石 一久

熊本県阿蘇郡南小国町周辺のキリ

シタン遺跡と遺物について 荒木 英市 長崎・御船蔵番所『日記』 福田 八郎 ヤマコブの一生とたたかい 馬場 伯明 幕末の志士一族の苦悩 伊東 豪健 立石様の不思議な啓示 江越 直記 江戸期軍記読み物 天草軍記(4) 山田 泰造 和算とキリシタン 林田津誉毅 わが家の引き出しの中から 松田 治二 史実共通点の発見 荒木 善弘 島原手延べそうめん(須川そうめ

ん)の歴史を紐解く 嶋田惣二郎 有家には八つの教会があった

所在地の考案 中村 季彦 潜伏キリシタン墓碑 島原の乱後

もキリシタンは存在 山下 貞文 セミナリヨ銅版画に想うこと 中村 隆英 16世紀有家セミナリヨ銅版画の研

究(2) 銅版画「セビリアの聖母」発見の裏に隠された真実に

迫る 生駒 輝彦

◆沖縄研究ノート

共同研究—南島における民族と宗教 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 〒981-8557仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 ™2022-277-6210 www.mgu.ac.jp/~kiriken/ ◇20 2011.3 B5 96p

書評 『琉球王統史 1609-1872年』 (ゆい出版、2001年) 割田 聖史

〈シンポジウム「見る、聞く、語る

―沖縄の過去・現在・未来─ |〉

第一部「沖縄を語る」

宮古島一思い出を語る 杉浦喜代子 第二部「公開講演」

琉球の赤い王宮と白い王陵一琉

球・沖縄史のパラダイムを見

直す 安里 進 『おもろさうし』英雄列伝序説 福 寛美 琉球処分と韓国併合 波平 恒男 沖縄の記憶を語り継ぐ

一石川ジェット機墜落事故 今林 直樹 沖縄本島北部における流通システ

ム維持に関する研究 土屋 純 『沖縄研究』書評会について 杉井 信 ◆竹富町史だより 竹富町教育委員会 〒907-0012沖縄県石垣市美崎町11-1 TmL0980-82-6191 1992年創刊

◇32 2011.3 B5 26p

第27回竹富町史編集委員会一委員 17人に委嘱状交付・「島じま」

編進捗状況の確認

業務日誌-町史編集室の動向

寄稿 鳩間島プール(豊年祭)の構

造的意味 加治工真市

文化財探訪(24)

西表島東部の魚垣

写真にみるわが町(27) 舟漕儀礼

のあるシィシィン(節祭)

記念碑を訪ねて(7) 米軍503空挺

部隊工兵隊道路改修記念碑

新聞で知る町の今昔(18)

水不足に愛プレゼント

収蔵図書一覧/竹富町史の刊行物

◆宮古郷十史研究会会報

〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8 下地和宏気付 〒10980-72-9963

♦183 2011.3 B5 6p

3月定例会レジュメ 仲宗根豊見

親の八重山入について(3)一「同

人八重山入の時あやこ | を中心

に 下地 利幸

「砧打ちからみえる宮古上布」=提

言-2月定例会のあらまし 砂川 猛

第16回企画展「宮古人のルーツを

探る Partl 十二~十三世紀の

野原の「歌碑」前で故高沢義人氏

を偲ぶつどい 仲宗根將二

岡本恵昭氏が『宮古島の信仰と祭

祀』を出版 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆諸君を紳士として遇す 小樽高等商業学校 と渡辺龍聖 小樽商科大学創立100周年記 念出版

倉田稔著 国立大学法人小樽商科大学出版会 (〒047-8501 北海道小樽市緑3-5-21 Tell 0134-27-5271) 2010年4月 A5 80頁 667 円

明治44年(1911)開校の小樽高等商業学校初代校長となり、大正10年(1921)に退任した渡邊龍聖の伝記をまとめる小樽商科大学創立100周年記念出版。小樽高等商業学校の校長になるまで/日本の学校/小樽/小樽を訪れた人びと/小樽高商の創立/渡辺龍聖の当初の努力/当時の社会情勢/南亮三郎の筆禍事件/商品学/教師たち/時代の中の小樽高商/渡辺校長の海外出張/昇格運動/初代渡辺校長の考え方/開校十年祭、渡辺校長の退任/第二代校長 伴房次郎/小林多喜二や伊藤整たち/庁商の黒沼校長/その後/渡辺龍聖の著作、年表、参考文献、初出

◆小樽商科大学創立100周年記念 小樽商科 大学附属図書館所蔵の貴重図書—展示資料 解説書

小樽商科大学附属図書館(同上)2011年3月 A4 68頁 非売品

小樽商科大学の創立90周年記念事業の一環として展示された附属図書館所蔵貴重図書の解説書を、100周年を記念して増補・復刻。90周年版以降加えられた7点の資料を新たに取り上げる。小樽商科大学附属図書館所蔵の貴重図書・展示資料解説書の復刻にあたって(山本眞樹夫・和田健夫)/貴重書展・展示資料解説書の出版にあたって(山田家正)/附属図書館長挨拶(結城洋一郎)/はじめに/解外国書(75件)/和漢書(8点)/小樽高商の教員および卒業生

◆津軽の仏像 東青・中南黒地方寺社所蔵文 化財調査報告書 青森県史叢書 青森県環境生活部県民生活文化課県史編さん グループ編(〒030-8570 青森市長島1-1-1 県庁舎北棟3階 Im1017-734-9238)2011年3月

A4 260頁

平成8年度から開始された青森県史編纂事業によって収集された関連資料などを刊行する青森県史叢書。本書では、既刊の「下北」「南部」編につづき、津軽地方の仏像悉皆調査の成果をまとめる。口絵/津軽の仏像/津軽の仏像 調査作例編/主な銘文/調査全作例一覧

◆野辺地町野坂忠尚家所蔵 旅日記関係資料 上 みちのく双書54

青森県文化財保護協会(〒030-0111 青森県 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 Im017-739-4211)2011年3月 A5 225頁 江戸中頃から酒造・廻船を業とし、南部盛岡 藩御用達も勤めた野坂屋二代忠蔵の商用と伊 勢参宮、その他の遊山を兼ねた長期の旅日記 類「野坂忠尚家所蔵旅日記関係資料」のうち、 文政13年の伊勢お蔭参りの様子や、上方見 物・北国街道経由で江戸へ出て、盛岡へ戻る までの日記2冊を収録する。資料口絵/解題 「野辺地町野坂忠尚家所蔵旅日記関係資料」 について/文政十三年寅閏三月吉日大和北國 道中記/文政十三年弐番北國道中記

◆中谷敏太郎論文集 臨床社会医学の実践中谷敏太郎論文集編集委員会 (〒010-0001 秋田市中通6-2-1 中通病院労働組合 Tel018-833-7937) 2011年3月 A4 428頁社会医療法人明和会中通リハビリテーション病院名誉院長 中谷敏太郎氏の没後5年を機に氏の58編の論考をまとめた論文集。推薦「臨床社会医学の実践家」中谷敏太郎論文集に寄せて一君の思想の深さは/推薦 はりつめた瞳の輝きに刻まれている(工藤一紘)/発

刊にあたって(草彅芳明)/I章(5編)/II章(6編)/II章(2編)/VV章(4編)/VV章(4編)/VI章(4編)/WI章(9編)/X章(3編)/X章(10編)/XI章(3編)/中谷敏太郎先生論文集 発刊に際しての編集・校正作業に関わって(佐藤昭・八幡一恵)

◆福島県歴史資料館友の会 5周年記念誌 福島県歴史資料館友の会 (〒960-8116 福島 県福島市春日町5-54 TELO24-534-9193) 2011 年3月 A4 36頁

相馬中村、西山旅館の古写真(菅野俊之)/検証・福島県有模範林の固定防火線(佐藤兵一)/「保科正之公」会津へ入国(上野邦男)/近世福島信達地方における領地支配の変遷(渡辺尚明)/歴史友の会入会の動機(冨田良章)/歴史教育に思うこと(中島己喜夫)/研修・講座参加について(佐久間信次)/知る楽しむ(嶋崎徳次)/私と歴史資料館の出会い(高野裕美子)/「福島県歴史資料館友の会」の歩み

◆大江志乃夫教授著作目録

田村貞雄編(〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂1238-14) 松永昌三・長谷川伸三・橋本哲 哉協力 2011年3月 A5 302頁 茨城大学名誉教授で2009年9月20日にこの世を去った日本近現代史・社会史研究の泰斗大江志乃夫教授の著作目録。著書/共著書/編著書・共編著書/監修書/自治体史/教科書編纂/学術論文等/史料解説・翻訳/裁判所提出意見書及び鑑定書/評論/評論/新聞掲載)/エッセー・概説・啓蒙・歴史小品/書評/演劇評等/座談・対談・談話/回想/年譜/大江志乃夫の思い出(宮本憲一)/社会史と大江さん(東敏雄)/追想 大江志乃夫先牛(橋本哲哉)

◆芳賀の文化財24

天然記念物(樹木)とその他の巨木・古木 芳賀郡市文化財保護審議会連絡協議会編・刊 2011年3月 B5 84頁 栃木県芳賀郡市内の文化財を調査・収集して まとめる文化財報告書の第24集として、5市 町に所在する110か所の樹木を、それぞれの 写真・一覧・位置図とともに収録する。序文 (小森瑞男)/芳賀地方の自然と樹木(杉田勇 治)/真岡市(28か所)/益子町(23か所)/茂 木町(22か所)/市貝町(13か所)/芳賀町(24 か所)

◆成田の地名と歴史 大字別地域の事典 大字別地域の事典編集委員会編(〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市立図書館 TELO476-27-4646) 2011年3月 A4 434+44頁 2006年の成田市・下総町・大栄町の合併を契 機として、1市2町それぞれの地域の歩み、大 字の歩み、地域の事典、碑文をまとめる。地 域の歩み 合併後の成田の5年、時代別市域 の歩み、旧市町村の歩み(成田市の歩み、成 田町の歩み、公津村の歩み、八牛村の歩み、 中郷村の歩み、久住村の歩み、豊住村の歩み、 遠山村の歩み、下総町の歩み、滑河町の歩み、 小御門村の歩み、高岡村の歩み、大栄町の歩 み、大須賀村の歩み、昭栄村の歩み、成田ニ ユータウンの歩み)/大朝の歩み/地域の事 典/巻末資料 市域の歴代市町村長、指定文 化財一覧、項目一覧、掲載図版・図表一覧、 参考文献一覧、協力者・編さん関係者/碑文

◆高木助一郎日記(第壱号~第三号)調査報告 書1 文化財研究紀要別冊20

東京都北区教育委員会編・刊(〒114-0055 東京都北区王子本町1-15-22 教育委員会事 務局生涯学習推進課文化財係 TELO3-3980-9325)2011年3月 B5 124頁 旧王子町役場から王子区会議員を務めた真木

旧王子町役場から王子区会議員を務めた高木 助一郎により、明治41年(1908)8月1日から昭 和22年(1947)8月5日までの40年間にわたり公 私とも詳細に記された日記「高木助一郎日 記」。平成22年度北区指定有形文化財(古文 書)にも指定された「日記」全49冊のうち、本書には第1号から第3号を翻刻・収録する。 「高木助一郎日記」に見る東京市域編入前後における王子町域の政治構造の変化―名望家秩序からの行政機関の乖離について(黒川徳男)/資料翻刻 明治41年8月~12月、明治42年1月~5月、明治42年6月~12月/挿絵一覧

◆原胤旧蔵資料調査報告書(4)

一江戸町奉行所与力・同心関係史料 千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史 民俗資料館編・刊(〒102-0081 東京都千代 田区四番町1 TELO3-3238-1139)2011年3月 A4 362頁

平成18年4月から同22年3月にかけて行われた、千代田区所蔵の原胤旧蔵資料調査の報告書第4冊。口絵/解説(加藤貴)/史料編 与力・同心の職務手控、裁許関係、職務記録、生活記録、家譜類、名簿類、その他/町奉行所与力・同心資料について(加藤貴)/町与力佐久間家と維新以前の佐久間長敬(滝口正哉)/明治・大正期の佐久間長敬(西脇康)/中央区民文化財「原胤昭関係文書」について(清水聡)/原胤昭旧蔵「御定書百ヶ条他 二十七冊」について(林紀昭)/史料紹介「南北会誌(案)」について(滝口正哉)/付録編 原胤昭旧蔵資料目録補遺、尾張屋版「八丁堀再見絵図」、南北町奉行与力・同心一覧

◆無形の民俗の保護における博物館・資料館 の役割 第5回無形民俗文化財研究協議会 報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL 03-3823-4925) 2011年3月 A4 130頁 2010年11月18日に開催された第5回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(高桑いづみ)/趣旨説明(俵木悟)/マーラン船の民俗技術の保護と継承一市民協働の資料館活動(前田一舟)/築27年日の「再開館

一芸北民俗芸能保存伝承館の試行錯誤(六郷寛)/生活文化伝承のために博物館ができること・できないこと─「体験博物館」がめざす先(榎美香)/氷見の獅子舞─天狗が獅子を殺して祭りが終わる(小境卓治)/田園空間博物館における伝統芸能の保存・継承─ひみ獅子舞ミュージアムの活動について(鈴木瑞麿)/総合討議/参考資料/アンケート集計結果◆無形民俗文化財の保存・活田に関する調査

◆無形民俗文化財の保存・活用に関する調査 報生書

東京文化財研究所無形文化遺産部編·刊(同上)2011年3月 A4 79頁

東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文 化財研究室における平成18年度から22年度に いたる5か年の中期計画「無形民俗文化財の 保存・活用に関する調査研究」の報告書。年 度別研究実施報告(平成18年度~平成22年 度)/民俗技術に関する調査と研究報告(服 部比呂美)/無形民俗文化財の公開と国際交 流一「国際民俗芸能フェスティバル」の15年 (宮田繁幸)/民俗芸能の伝承組織についての 一試論一「保存会」という組織のあり方につ いて(俵木悟)

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 Tm.042-734-4508) 2011年3月 A5 85頁 2010年度第2回企画展「明治の学び舎一地域における学びと教えの足跡をたずねて一」の記録。記念講演 邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん(高橋敏)/記念講演 山峡の学校史一群馬県吾妻郡の地域と学校(花井信)/記念講演 明治期町田の初等教育機

◆明治の学び舎 民権ブックス24

関と地域社会(石居人也)

◆厚木市史 近世資料編(6) 村むらと生活 厚木市教育委員会教育総務部文化財保護課文 化財保護係編 厚木市 (〒243-8511 神奈川 県原木市中町3-17-17 〒1046-225-2060) 2011 年3月 A5 960頁

『厚木市史』の第11回配本であり、昭和61年 刊行の「神社」以来25年を経た近世資料編の 最終巻。厚木市域の複数の村むらに関する近 世資料540点を収録する。厚木と相模川 164 点/道と交通 104点/水と村々 94点/さ まざまな生活 55点/幕府の施策と村々 65 点/参考文献/索引(編年別索引、語句註索 引)/付録 (天保年間)「新編相模国風土記 稿」愛甲郡・大住郡・高座郡・津久井県今考 定図街道概念図

◆新横須賀市史 資料編 古代·中世補遺 横須賀市編・刊(〒238-8550 神奈川県横須 智市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史 編さん担当 TRLO46-822-8150) 2011年3月 A 5 599頁 1500円

2004年から刊行が開始された新市史(全15巻) の第9回配本。既刊の資料編「古代・中世 」 「古代・中世Ⅱ」以後の文献・金石文調査に よって得られた新たな資料など483点と『新 編相模国風土記稿』の三浦郡域部分を収録す る。資料を読む一古代・中世の横須賀と三浦 一族(補遺) 請所化された国衙領とその地頭 (高橋秀樹)/資料編(古代・中世補遺史料、 近世初頭史料)/新編相模国風土記稿(解説、 三浦郡巻之一~巻之九)/出典一覧

◆武田信玄の娘 菊姫と竹姫―上杉定勝と武 田信吉・阿姫(振姫)の出生の謎 戦国史真 相探究編2

首藤義之・福住明子著 琵琶湖そよ風出版(〒 520-0528 滋賀県大津市和瀬高城289-11 首 藤方) 2011年3月 A5 237頁 3500円 上杉景勝正室の菊姫(武田信玄の七女)や、上 杉定勝、直江兼続・お船夫妻など、謎に満ち た人物たちの実像について新たな視点から考 察する。上杉景勝の正室菊姫の生涯と直江兼 続・お船夫妻―上杉定勝は、本多政重と直江

と梅雪夫人・松姫姉妹―武田信吉・阿姫(振姫) の生母は、武田信玄の八女竹姫叙説

◆写真で見る富十吉田の歩み

一市制60周年記念

富士吉田市歴史民俗博物館編(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2011年3月 A4 79頁

昭和26年(1951)、富士上吉田町・下吉田町・ 明見町の三町の合併による富士吉田市の市制 施行60周年を記念する写真図録。昭和40年代 までに市広報で撮影された写真や市民から提 供された写真を中心に、昭和の活気溢れる時 代の中で発展していく富士吉田市の姿を紹介 する。市の発展と建物/思い出の校舎/変わ りゆく町並み/懐かしの風景/行事と祭り/ 出来事

◆犬山祭のからくり調査報告書

犬山市教育委員会編·刊(〒484-8501 愛知 県犬山市大字犬山字東畑36 TEL0568-61-1800) 2011年3月 A4 295頁

350年以上の歴史をもつ犬山祭について、平 成20年度から3年間にわたって行われてきた 「犬山祭の車山行事からくり調査民俗文化財 調査事業」の調査報告書。写真図版/刊行に 寄せて(田中志典)/刊行に寄せて(石田芳弘) /大山祭とからくり(はじめに、中部地域に おけるからくり、犬山祭のからくり、図説 からくり人形のしくみ)/からくり人形の機 構(凡例、枝町「遊漁神」、魚屋町の「乱杭 渡り |、下本町「應合子 |、中本町「西王母 |、 熊野町「住吉・白楽天」、新町「浦嶌」、本町 「唐子遊び」、練屋町「石橋獅子」、鍛冶屋町 「石橋」、名栗町「菅原伝授手習鑑」、寺内町 「淡路嶋」、余坂「二福神」、外町「梅梢戯」、 資料 平成22年度犬山祭からくり人形調査報 告)/からくり人形の保存と修理の課題(調 存修理の現状と課題)/人形操作控え/付録 CD 犬山祭からくり人形写真・犬山祭から くり人形図面・犬山祭からくり人形一覧表・ からくり人形の調査を終えて

◆新修名古屋市史 資料編 近世3 新修名古屋市史編集委員会編 名古屋市(〒 461-0011 名古屋市東区白壁1-3 名古屋市 市政資料館 TELO52-953-0051) 2011年3月 B5 897頁

『新修名古屋市史』本文編全10巻完結(2001年 10月)をうけて2006年3月から刊行が開始され た資料編第8冊。尾張藩9代藩主・徳川宗睦の 治世から幕末維新期までの近世後半期の資料 を収録する。解説/藩政の展開(政治と社会、 村々と人口、藩政と家中、開国と攘夷、藩の 編さん事業)/商工業の発展と生活の変化(商 工業の発展、生活の変化)/交通(鳴海宿、 熱田宿、尾張廻船と堀川水運)/文化(江戸 中期、江戸後期、出版文化と薬品会、町人の 文芸活動)

◆新「関ヶ原合戦 | 論

定説を覆す史上最大の戦いの真実 白峰旬著 新人物往来社(〒102-0083 東 京都千代田区麹町3-2 相互麹町第一ビル TELO3-3221-6031) 2011年3月 B6 191頁 1400円

プロローグ 関ヶ原の戦いを新しい視点で考 え直す必要性/関ヶ原の戦いへの経過/直江 状についての新解釈/石田・毛利連合政権の 成立/石田三成の軍事戦略と戦後の構想/関 ヶ原の決戦当日の状況と助因論/エピローグ 惣無事令体制の崩壊から二重公儀体制の成 立へ/出典史料の略称一覧

◆国重要無形民俗文化財 志摩加茂五郷の盆 祭行事調查報告 鳥羽市民俗文化財調查報 告書2

鳥羽市教育委員会編·刊(〒517-0592 三重 県志摩市阿児町鵜方3098-22 TEL0599-440315) 2010年3月 A4 69頁

16世紀、九鬼嘉降の時代に発祥したとされ、 昭和62年に国の重要無形民俗文化財に指定さ れた400年以上の歴史をもつ三重県加茂五郷 の盆祭行事について、平成16年度三重県ふる さと文化再興事業における報告書の内容も一 部収録した調査報告書。総説 志摩かも五郷 の盆行事(地域の概要、行事の由来について、 経緯、盆行事の概要)/各地の盆行事(河内 の盆行事、松尾の盆行事、岩倉の盆行事、船 津の盆行事)/講演録 加茂五郷の盆行事と 大念仏―その特色と意義 講師:植木行官 (2008年11月28日)

◆丹後震災救護史料集 京丹後市史資料編 京丹後市史編さん委員会編 京丹後市(〒 629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226 京丹後市教育委員会文化財保護課 TEL0772-69-0640) 2011年3月 A5 351頁 1600円(送 料340円)

2004年4月の京丹後市の誕生をうけて開始さ れた京丹後市中編纂事業による資料編第2冊。 昭和2年(1927)3月7日に発生した丹後震災の 救護活動にかかわる京都府・京丹後市所蔵の 史料325点を収録する。解説編 丹後震災に おける救護・救援活動について/史料編(地 震の発生と被害状況の伝達 111点、多様な 救護活動の展開 92点、復興への歩み 120 点、郷村報にみる復興のようす 2点)/資料 提供・調査協力者一覧

◆八幡地域の古文書・石造物・景観─地域文 化遺産の情報化 京都府立大学文化遺産叢

東昇·竹中友里代編 京都府立大学文学部歴 史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木 町1-5) 2011年3月 A4 210頁

2009 · 2010年度京都府立大学地域貢献型特別 研究の研究成果をまとめる。

第1部 地域の文化遺産と歴史 淀藩出動と

石清水八幡宮の領主権一火災時における対応 (藤本仁文)/中世の石清水八幡宮における祠 官「家」の成立(刑部香奈)/絵図資料にみる 地域認定一近世奈良のなかの『南都』と『奈 良』(水谷友紀)

第Ⅱ部 街道の景観と文化遺産 八幡市域街 道景観調査報告―東高野街道(上杉和央)

第Ⅲ部 神社の石造物と文化遺産 八幡市域 神社石造物調査報告一市域東部の神社を中心 に(京都府立大学文学部考古学研究室)/川口 天満宮社殿の修築と職人(竹中友里代)/山城 地方の近世石燈籠―17世紀を中心に(日比野 和也)

第Ⅳ部 墓地の石造物と文化遺産 中ノ山墓 地の景観と庶民信仰(竹中友里代)/八幡市中 ノ山墓地の墓地図と石仏群(東昇)/石仏群調 春報告

第V部 古文書の調査と目録 近世石清水八幡宮領内の土地売買一木村家文書解題(稲吉昭彦)/木村家文書の淀屋関係史料と近世石清水神領(竹中友里代)/木村家文書目録(近世、第1・15箱)

◆大阪の除痘館 改訂・増補版

芝哲夫・加藤四郎・古西義麿・米田該典・淺 井允晶監修 (財洪庵記念会 除痘記念資料室 (〒541-0042 大阪市中央区今橋3-2-17 緒方 ビル Te106-6231-3257) 2011年3月 (1983年4 月初版) B5 102頁

緒方洪庵と大阪の「除痘館」の活動についてまとめた『大阪の除痘館』の、「緒方洪庵生誕200年」記念による増補・改訂出版。発刊にあたって(緒方高志)/天然痘(痘瘡)について(加藤四郎)/天然痘(痘瘡)との戦い一除痘館活動の前提/大阪の除痘館一資料による歩み/人痘種痘法 variolation から牛痘種痘法 vaccination へ(加藤四郎)/エドワード・ジェンナーと牛痘種痘法の開発(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)/牛痘種痘苗(チーニケ苗)の伝来と展閱(加藤四郎)

郎)/大阪の除痘館と緒方洪庵(淺井允晶)/緒方洪庵と緒方郁蔵(古西義麿)/古手町除痘館記念碑の建立(川上潤)/尼崎町「除痘館跡」記念銘板(川上潤)/除痘館を支えた人々(古西義麿)/人痘種痘法と牛痘種痘法一緒方洪庵の種痘事業をめぐって(米田該典)

◆三田藩家老九鬼家文書目録1

三田市(〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町 12-27 生涯学習課市史編さん担当 1元079-559-4466),神戸大学大学院人文学研究科地 域連携センター (〒657-8501 神戸市灘区六 甲台町1-1)編·刊 2011年3月 A4 208頁 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センタ ーが積極的に進めている自治体や市民と連携 して地域の歴史遺産を地域づくりに活かす活 動の一環として、三田市歴史資料収蔵センタ - 所蔵の1万3000点を超える三田藩家老九鬼 家文書についての第一次調査分の目録。目録 とともに「九鬼家文書から、こんな三田の歴 史がわかる」コラムを掲載した、親しみやす い資料目録である。はじめに(奥村弘)/この 目録を利用される方へ(三村昌司)/コラム 三田藩の軍制、コンパクトサイズの大名行列 -参勤交代の舞台裏、家の継承-藩士の出世 と次世代への相続、「武士道」の世界、武士 の商売-「変ニ臨てハ変ニ応候事」、武士の 結婚、三田藩の「奥」の姿、三田藩と水害、 三田藩の公議人、近代の駅伝営業/三田藩家 老九鬼家文書目録 凡例・目録

◆阪神・淡路大震災 伊丹からの発信

手引・資料編 伊丹市立博物館史料集8 伊丹市立博物館編・刊(〒664-0898 兵庫県伊丹市千僧1-1 TEL0727-83-0582)2011年3月 B5 669頁

み/人痘種痘法 variolation から牛痘種痘法 伊丹市立博物館による震災資料集『手引・資 vaccination へ(加藤四郎)/エドワード・ジ ェンナーと牛痘種痘法の開発(加藤四郎)/牛 痘種痘苗(モーニケ苗)の伝来と展開(加藤四 取り調査記録の特色・利用法を示す「手引編」 と、伊丹豪雨、阪神・淡路大震災に関する原資料、『災害と対応の記録』(伊丹市災害対策本部刊、1997年)の一部、阪神・淡路大震災に関する市民・職員による手記、『広報伊丹特別号』(1995年1月24日~11月1日)、『広報伊丹』(1995年2月1日~1998年11月15日)の一部を掲載した「資料編」を収録。巻頭写真一覧/手引編『阪神・淡路大震災 伊丹からの発信 手引・資料編』について、阪神・淡路大震災を考えるために、伊丹市立博物館聞き取り事業の解説/資料編 掲載資料解説、原資料、災害と対応の記録、手記、広報伊丹/付録 統計、年表

◆兵庫県学童疎開関係史料集成1

『神戸新聞』篇

人見佐知子編 甲南大学人間科学研究所 (〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 Tal 078-435-2683) 2011年3月 A5 199頁 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「現代人の心の危機の見極めと、その実践的解決のためのネットワークの形成」を目的とする共同研究プロジェクトの一環として甲南大学人間科学研究所が収集した兵庫県学童疎開に関する史(資)料の史料報告集。本書には『神戸新聞』から、1944年(昭和19)6月30日『学童疎開促進要綱』が閣議決定されて以降の学童疎開関係記事169点を収録する。『神戸新聞』/解題(人見佐知子)

◆あゆみ

南方熊楠賞の20年と顕彰事業の足跡 南方熊楠顕彰会(〒646-0035 和歌山県田辺 市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 Tm0739-26-9909)2011年3月 B5 276頁 記念誌の発行にあたって(真砂充敏)/「南方 熊楠賞」の原点(脇坂孝三郎)/熊楠賞継続の 基盤をつくった下口弘さん(高橋徹)/南方熊 楠賞の現代的意義-20周年記念名誌によせて (佐々木高明)/20年の歴史を重ねた南方熊楠 當(青木淳一)/南方能楠顕彰事業史/南方能 楠顯彰館/南方能楠邸/第1回南方能楠當 人文の部 バーバラ・ルーシュ、自然科学の 部 神谷盲郎、人文の部特別賞 長谷川興蔵、 自然科学の部特別賞 小林義雄/第2回南方 熊楠賞 人文の部 谷川健一/第3回南方熊 楠嘗 自然科学の部 椿啓助/第4回南方能 楠嘗 人文の部 國分直一/第5回南方熊楠 當 自然科学の部 吉良龍夫、人文の部 鶴 見和子/第6回南方熊楠賞 自然科学の部 竹内郁夫/第7回南方熊楠賞 人文の部 川 添登、人文の部特別賞 カーメン・ブラッカ -/第8回南方熊楠賞 自然科学の部 四手 井綱英/第9回南方熊楠賞 人文の部 加藤 九祚/第10回南方熊楠賞 人文の部 上田正 昭、自然科学の部 日高敏隆/第11回南方熊 楠賞 自然科学の部 青木淳一、自然科学の 部功労者 樋口源一郎/第12回南方熊楠賞 人文の部 櫻井徳太郎、人文の部特別賞 神 坂次郎/第13回南方熊楠賞 自然科学の部 本郷次雄、自然科学の部特別賞 後藤伸/第 14回南方熊楠賞 人文の部 佐々木高明、人 文の部特別賞 飯倉照平/第15回南方熊楠賞 自然科学部 柴岡弘郎/第16回南方熊楠賞 人文の部 岩田慶治/第17回南方熊楠賞 自然科学の部 伊藤嘉昭/第18回南方熊楠賞 人文の部 伊藤幹治/第19回南方熊楠賞 自然科学の部 堀田満/第20回南方能楠賞 人文の部 山折哲雄

◆長崎・平戸調査報告書 2009年度早稲田大 学特定課題研究助成費「藩世界と東アジア 世界一西日本地域を中心に |

紙屋敦之編・刊(〒162-8644 東京都新宿区 戸山1-24-1 早稲田大学文学部 『ELO32-5286-3735)2010年3月 A4 76頁 刊行にあたって(紙屋敦之)/近世大名松浦静

刊行にあたって(紙屋製乙)/ 近世大名松浦静 山の外界像(その一)(深谷克己)/大名養子の 手続き一嘉永二年平戸藩松浦家の場合(大森 映子)/調査覚 平戸藩松浦家の勅使等御馳 走役に寄せて(久保貴子)/史料紹介「信使来 朝万用法古帳写 全」について(紙屋敦之)/ 大名の官名とその史料一天保五年平戸藩主松 浦熈の官名伺(堀新)/史料紹介「踏絵の両面 性一「山本甚左衛門覚書」(松浦史料博物館蔵) によせて」(大橋幸泰)/史料紹介「城郭再建 と海禁体制一福江藩五島氏の「御城主成」願 書の紹介」(泉正人)

◆島津一族 無敵を誇った南九州の雄 Truth in History24

川口素生著 新紀元社 (〒101-0054 東京都 千代田区神田錦町3-19 Tm:03-3291-0961) 2011年4月 A5 303頁 1900円 鎌倉時代から続いた島津家全205人の生涯を 記録する。島津家嫡流の歴史と人物 (鎌倉時 代の島津家、南北朝・室町時代の島津家、戦 国・織豊時代の島津家、戦国・織豊時代の重要 場面、江戸時代の島津家、江戸時代の重要 場面、幕末維新期の島津家、幕末維新期の重 要場面)/島津家の分家と支族(中世の島津 家の分家、支潘・佐土原潘とその分家、江戸 時代の島津家の分家、島津家の支族と全国の 島津家)/資料編(島津家関係略年表、島津

◆宮古郷土史研究会 35年のあゆみ

宮古郷土史研究会編・刊 (〒906-0013 沖縄 県平良市下里1223-8 下地和宏気付 ™ 0980-72-9963) 2011年5月 B5 189頁 沖縄県立図書館宮古分館主催の「宮古郷土史 を学ぶ会」(第1回 1973年)から発展した分館 の行事として1975年4月9日に設立された「宮 古郷土史研究会 | の35周年記念誌。宮古郷土 中研究会[35年のあゆみ]によせて(下地和宏) /35年のあゆみ(1975~2011年)/定例会にお ける発表テーマ/研究発表会・シンポジウム、 他/宮古郷土史研究会規約/新聞にみる郷土 史研究会35年/郷土史研究会設立35周年に寄 せて 宮古文化史編さん委員会と『宮古史要』 (仲宗根將二)、宮古郷土史研究会35年を振り 返る(砂川幸夫)、「宮古島旧記 | と郷土史(下 地和宏)、飢餓=ヤースゥが原点-東北大震 災から(宮川耕次)、子どもたちの学習の場と しての博物館(久貝弥嗣)、宮古島2005年移住 (田中政子)/宮古郷土史研究会会員名簿(1975 年~2010年)/『宮古研究』協替広告者一覧(第 1号~第11号)

◆後記---

家関係一覧表)

山本作兵衛の炭鉱絵・日記などが世界記憶遺産に登録されたことは大変に嬉しい。ちょうど東日本大震災の直前頃であったか、ラジオで、アジア諸国が積極的に乗り出しているのに対し、わが国は極めて消極的であったが、文科省が漸く重い腰を上げ、『御堂関白記』などを候補に申請しようとしていることを耳にした。『御堂関白記』は平安時代の摂政太政大臣藤原道長の日記で、国宝として権威ある古典籍に違いないが、人類の記憶としてふさわしいものなのか疑問に感じた。山本の絵や日記は、「近代日本を支えた石炭産業の現場を労働者の目線で描いた」(「朝日新聞」2011.5.26) 生の記録であり、採択したユネスコの見識に目が洗われる思いである。しかも、福岡県田川市からの申請であるというのがいい。吉村昭『三陸海岸大津波』には、昭和8年の大津波に際して書かれた、岩手県田老尋常高等小学校生徒の臨場感に溢れる作文が多数引用されている。もしも自筆の原稿集が残っているとしたら、こうしたものこそ人類の記憶として引き継ぐべきものであろうと思うのである。

地方史情報 104 2011年(平成23年)8月 発行 http://www.iwata-shoin.co.jp 定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137 発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南島山4-25-6-103 Tgt.03-3326-3757